
Google アナリティクス 4

GA4 データインポート

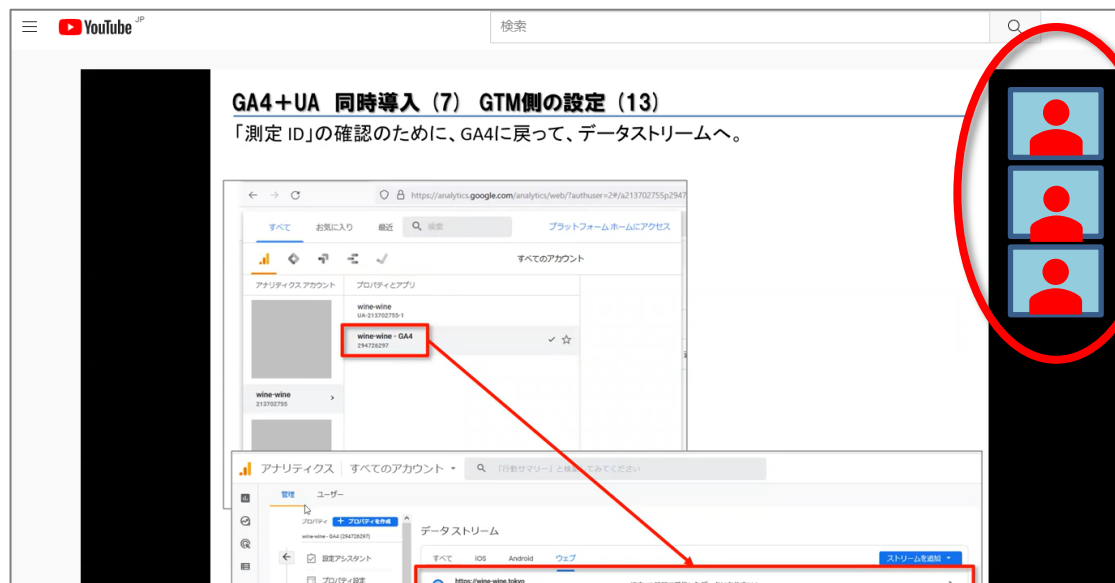
and,a株式会社
2022年06月18日

セミナー中はZOOMはミュート状態をお願いいたします。

■セミナーの録画について■

このオンラインセミナーは、弊社にて録画して、アーカイブとしてネットで公開させていただきます。

セミナー中にユーザー様がミュートを解除して音を発せられると、ZOOMのパワーポイントの横に、お名前や映像が出てしまうことがあります。申し訳ございませんが、音声OFF、カメラOFFにてご視聴いただきますよう、お願い申し上げます。



セミナー中に、もしお名前、映像が出てしまった場合は、アーカイブ公開前にモザイクでお名前を隠させていただきます。

セミナーテキストのダウンロード

本セミナーのテキストは登録なしでダウンロードしていただくことができます。
テキストはセミナー後も必要に応じて可能な限り更新してまいります。

GA4 Quick

検索



<https://ga4-quick.and-aaa.com/>

The screenshot shows the GA4 Quick website interface. At the top, there is a navigation menu with items: セミナー案内, テキストダウンロード (highlighted), サービス案内, 解説記事, このサイトについて, お問合せ・FAQ. Below the menu, a breadcrumb trail reads: ホーム > ブログ > オンラインセミナー > 「GA4【無料】オンラインセミナー」テキストダウンロードセンター (登録不要). The main content area features a red-bordered box containing the text: 「GA4【無料】オンラインセミナー」テキストダウンロードセンター (登録不要). Below this box is a large image of old books. To the right, the 'anda' logo is visible. A '最近の記事' (Recent Articles) section lists three items: 'よくあるご質問 (FAQ)' (2022.02.19), 'GA4では、utm_mediumはどう書く?' (2022.02.18), and '「GA4【無料】オンラインセミナー」(1テーマ30分×全15回) ...' (2022.02.18).

セミナーについてのご質問

ZOOMにはチャット機能がございますが、**セミナーの時間が30分**のため、**大変申し訳ございませんが、セミナー中にチャットでご質問を頂戴しても、セミナー中にご回答させていただくことができません。**

弊社ではGA4の導入、設定、活用などに関して、質問、相談ができる「GA4専用 無料コミュニティ」を開設しております。

こちらで当セミナーの講師がご回答させていただきます。
下記のリンクから、**全て無料**でご利用いただくことができます。
<https://discord.gg/H48gPszEuP>



コミュニティは、当セミナーの主催者 and,a株式会社が運営しており、どなたでも無料でご参加いただき、質問を書き込んで頂くことができます。

データインポートとは

データインポートとは

データインポートとは、

外部ソースからデータをアップロードし、アナリティクスのデータと結合する機能です。

データインポートには、下記の5種類があります。

「費用データ」「アイテムデータ」「ユーザー ID 別のユーザーデータ」

「クライアント ID 別のユーザーデータ」「オフライン イベントデータ」

後半で、それぞれについて解説します。

データの種類 ②

費用データ

- Google 以外のソースから広告費用データをインポートします。このアップロードタイプは、費用データと、レポートやクエリの実行時のキャンペーン、ソース、メディアを関連付けます。このデータを削除しても、基になるイベントデータに影響はありません。

アイテムデータ

- ブランド、カテゴリ、および / またはパターンなどの商品メタデータをインポートします。このデータがアップロードされると、収集されたパラメータの代わりにイベント処理や、レポートで過去のデータの修正に使用されます。このデータを削除するには、データの削除が必要です。

ユーザー ID 別のユーザーデータ

- User-ID データをインポートし、他のデータソースに基づいて、アップロードする User-ID ごとに新しいユーザー プロパティの値を更新して関連付けます。このデータを削除するには、ユーザーまたはデータの削除が必要です。

クライアント ID 別のユーザーデータ

- Client-ID データおよび / または App_Instance_ID データをインポートし、他のデータソースに基づいて、アップロードする ID ごとに新しいユーザー プロパティの値を更新して関連付けます。このデータを削除するには、ユーザーまたはデータの削除が必要です。

オフライン イベントデータ

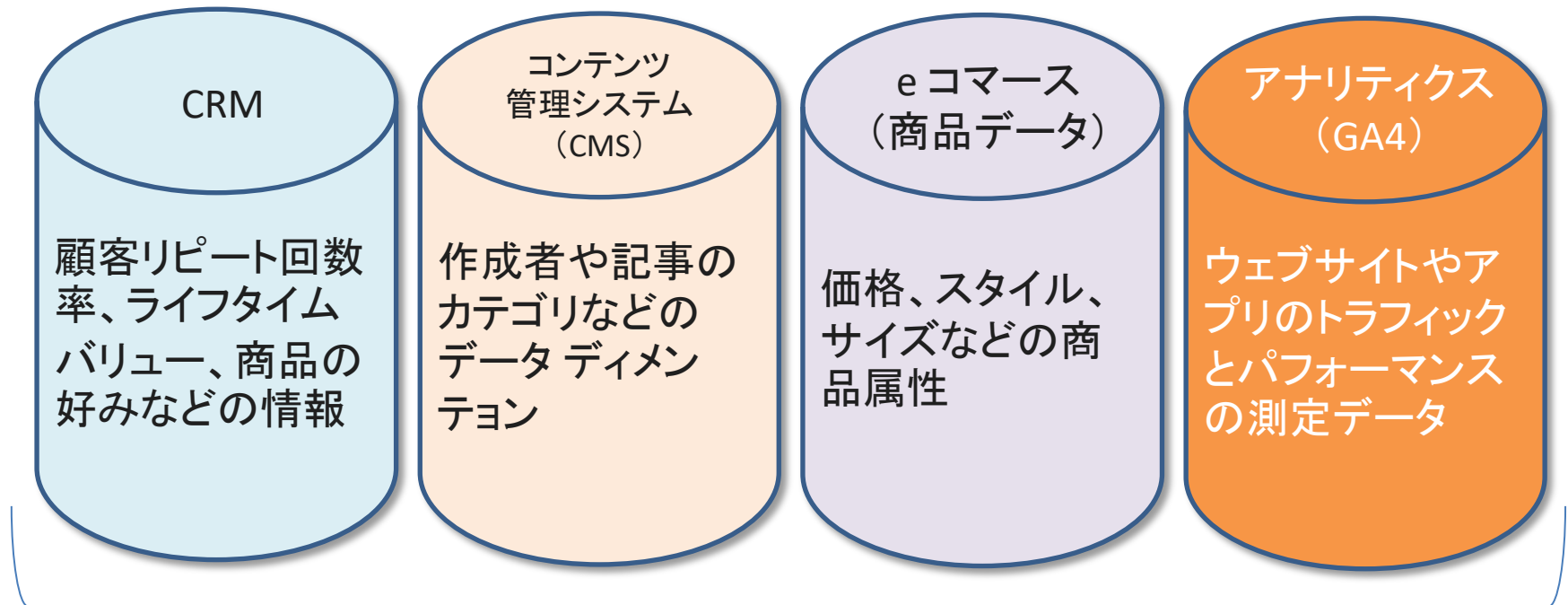
- インターネット接続がない場合、あるいはソースが SDK または Measurement Protocol 経由でのリアルタイム イベント収集をサポートできない場合、ソースからオフライン イベントをインポートします。これらのイベントはアップロードされると、関連するタイムスタンプ、またはタイムスタンプがない場合はアップロード時刻を使用して、SDK 経由で収集された場合と同様に処理されます。このデータを削除するには、ユーザーまたはデータの削除が必要です。

管理 > プロパティ列 > データインポート

公式ヘルプ: <https://support.google.com/analytics/answer/10071301?hl=ja>

データインポートを使用する理由

各種ビジネス用システムでは、それぞれ独自のデータが生成されます。

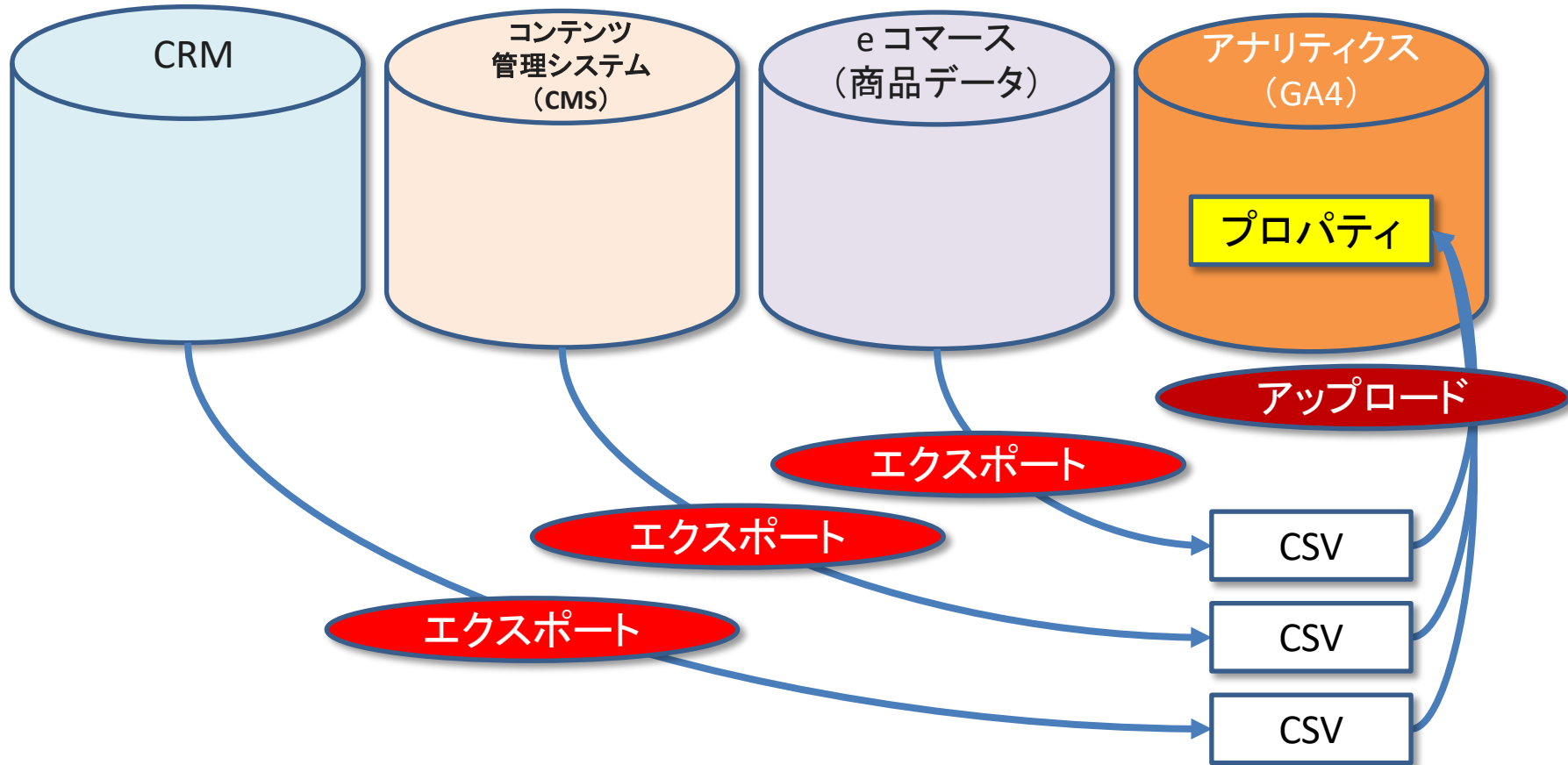


通常これらのデータはそれぞれサイロ化(連携されていない状態)されており、互いに情報のやりとりはありません。データインポートは、定義したスケジュールでこういったデータをアナリティクスに集約して結合することができ、サイロ化の解消、新たなインサイトの発見、データの民主化に役立ちます。

公式ヘルプ: <https://support.google.com/analytics/answer/10071301?hl=ja>

データ インポートの仕組み (1) データのアップロード

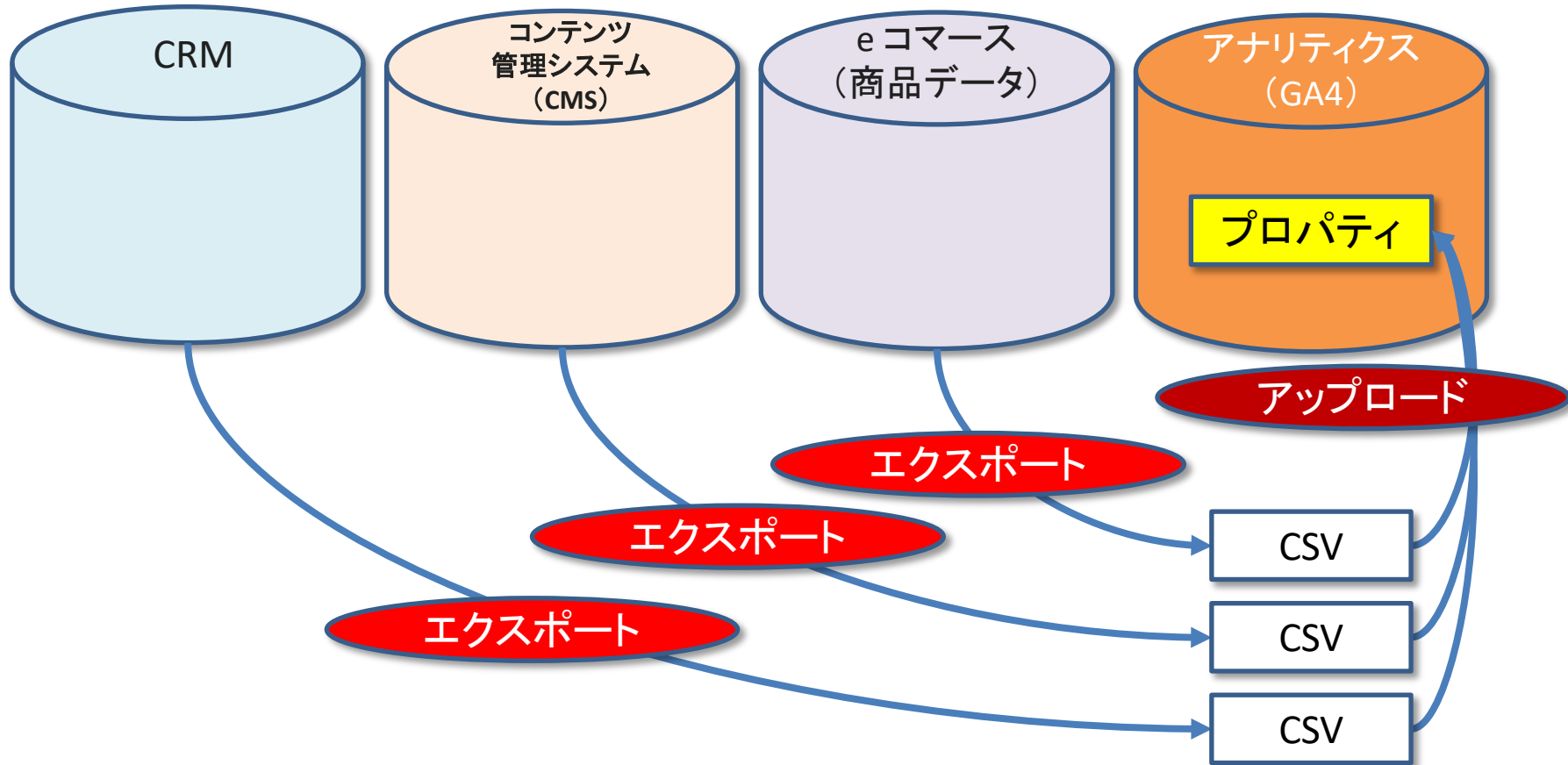
外部のデータを格納した **CSV ファイルを、GA4のプロパティにアップロードします**。CRM や CMS といったオフラインのビジネスツールからこうした CSV ファイルをエクスポートして使用できるほか、少量のデータであればテキスト エディタやスプレッドシートでファイルを手動作成することも可能です。



公式ヘルプ: <https://support.google.com/analytics/answer/10071301?hl=ja>

データ インポートの仕組み (2) データのアップロード

アップロードしたオフライン データは、GA4が収集したイベントデータと結合されます。これによってレポート、比較、オーディエンスのデータが強化され、ユーザーのアクティビティをオンラインとオフラインの両面にわたって総合的に把握できます。



公式ヘルプ: <https://support.google.com/analytics/answer/10071301?hl=ja>

データ結合のタイミング

インポートしたデータの種類に応じて、次のいずれかの方法でデータの結合が行われます。

		収集 / プロセスタイム	レポート / クエリタイム
データ結合のタイミング		アナリティクスのデータの収集・処理時に、インポート済みデータとの結合が行われます。	アナリティクスのデータとインポート済みデータの結合は、レポートを開き、アナリティクスがレポートデータを取得するクエリを実行した時点で行われます。
過去データ		インポートしたデータはアナリティクスの過去のデータ(処理が済んでいるデータ)とは結合されません。	
インポートしたデータファイルを削除した場合		インポートしたデータファイルを削除した場合、その後の結合は行われませんが、すでに結合済みのデータはそのまま維持されます。	このタイプの結合は一時的なものです。インポートしたデータファイルを削除した場合、その後の結合は行われず、すでに結合したデータをアナリティクスで参照することもできなくなります。
データの種類	ユーザーデータ	○	
	オフラインイベント	○	
	費用データ		○
	商品データ		○
留意点			オーディエンスを作成する際や、データ探索ツールでセグメントを作成する際には使用できません。

公式ヘルプ: <https://support.google.com/analytics/answer/10071301?hl=ja>

インポートできるメタデータの種類

メタデータ(本体であるデータに関する付帯情報が記載されたデータ)

インポートしたメタデータは、プロパティによって収集・処理済みのデータに追加されます。メタデータは通常、カスタム ディメンションまたは指標に格納されますが、収集済みのデフォルト情報を上書きした方が便利なケースもあります(カテゴリ構成を更新した商品カタログをインポートする場合など)。

インポートできるデータの種類は次のとおりです。

データの種類	説明
費用データ	サードパーティ(Google 以外)の広告ネットワークのクリック数、費用、表示回数データ
商品データ	商品のメタデータ(サイズ、色、スタイル、その他の商品関連ディメンションなど)
ユーザーデータ	リピート回数率や顧客のライフタイム バリューなど、セグメントやリマーケティング リストの作成に使用できるユーザー メタデータ
オフライン イベント	インターネット接続が利用できないソースや、リアルタイムでのイベント収集がサポートされていないソースのオフライン イベント

公式ヘルプ: <https://support.google.com/analytics/answer/10071301?hl=ja>

データインポートの上限

保存容量の合計	10 GB
データソースのサイズ	1 GB
1日あたりのアップロード量	アップロード回数: 24 累積容量: 10 GB

公式ヘルプ: <https://support.google.com/analytics/answer/10071301?hl=ja>

データをインポートする方法

データをインポートする方法

データをインポートする際には、データソースを作成します。データソースとは、アップロードする CSV ファイルと、既存のアナリティクス フィールドから CSV のフィールドへのマッピングの組み合わせです。

例:

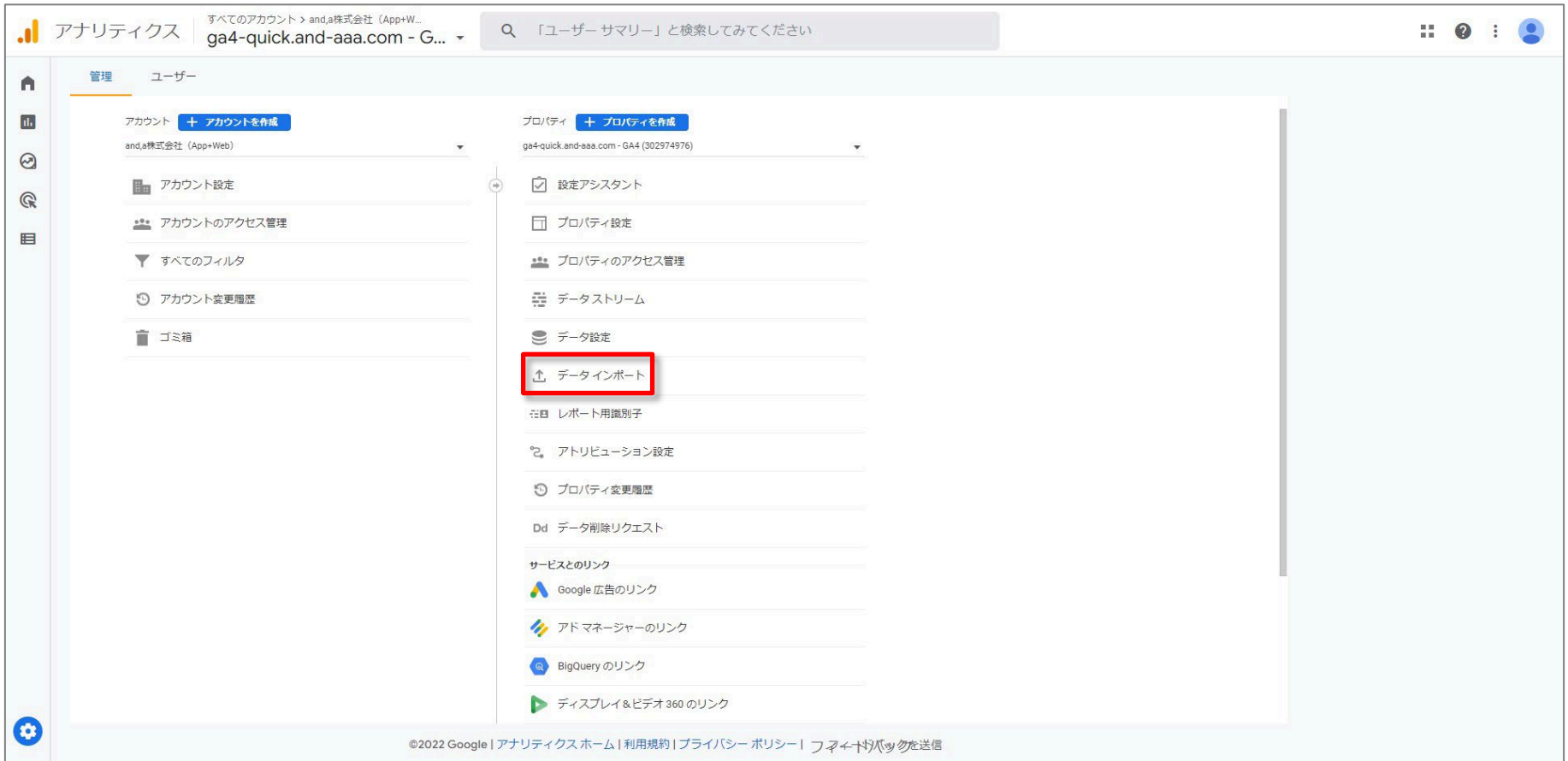
アナリティクスのフィールド	インポート済みのフィールド	インポートデータのサンプル
<input checked="" type="checkbox"/> キャンペーン ID	campaign_id	bing_00001 facebook_00002 twitter_00003
<input checked="" type="checkbox"/> キャンペーンの参照元	source	bing facebook twitter
<input checked="" type="checkbox"/> キャンペーンのメディア	medium	cpc cpc cpc
<input checked="" type="checkbox"/> キャンペーン名	項目を選択	
<input checked="" type="checkbox"/> 日付	項目を選択	
<input type="checkbox"/> 1日の費用		
<input type="checkbox"/> 1日のクリック数		
<input type="checkbox"/> 1日の表示回数		

※重複したキーを含むファイルはアップロードしないでください(例: user_id という名前の 2 つのフィールド)。

公式ヘルプ: <https://support.google.com/analytics/answer/10071301?hl=ja>

インポート プロセス (1)

管理 > 「プロパティ」列 > データ インポート をクリック



The screenshot displays the Google Analytics Admin console. The top navigation bar shows the account name 'and,a株式会社 (App+Web)' and the property 'ga4-quick.and-aaa.com - G...'. The main content area is divided into two columns: 'アカウント' (Accounts) and 'プロパティ' (Properties). The 'プロパティ' column is expanded to show a list of settings for the selected property. The 'データ インポート' (Data Import) option is highlighted with a red box. Other options in the list include '設定アシスタント', 'プロパティ設定', 'プロパティのアクセス管理', 'データストリーム', 'データ設定', 'レポート用識別子', 'アトリビューション設定', 'プロパティ変更履歴', 'データ削除リクエスト', and 'サービスとのリンク'.

公式ヘルプ: <https://support.google.com/analytics/answer/10071301?hl=ja>

インポート プロセス (2)

「データソースを作成」をクリックします。

アナリティクス | すべてのアカウント > and,a株式会社 (App+W...
ga4-quick.and-aaa.com - G... | 「ユーザー サマリー」と検索してみてください

管理 ユーザー

プロパティ **+ プロパティを作成**
ga4-quick.and-aaa.com - GA4 (302974...)

設定アシスタント
プロパティ設定
プロパティのアクセス管理
データストリーム
データ設定
データインポート
レポート用識別子
アトリビューション設定
プロパティ変更履歴
データ削除リクエスト

サービスとのリンク
Google 広告のリンク
アド マネージャーのリンク
BigQuery のリンク
ディスプレイ & ビデオ 360 のリンク

データのインポート

データインポートを使用すると、外部ソースからデータをアップロードし、アナリティクスのデータと結合できます。[データソースを作成] をクリックして、アップロードできるデータの種類をご確認ください。 [詳細](#)

データソースを作成

データソース名	データ型	ステータス
まだデータソースがありません。[データソースを作成] をクリックして作成してください		

©2022 Google | アナリティクス ホーム | 利用規約 | プライバシー ポリシー | フォントパックを送信

公式ヘルプ: <https://support.google.com/analytics/answer/10071301?hl=ja>

インポート プロセス (3)

データソースに名前を付けます。
データの種類を選択します。

アナリティクス 全てのアカウント > a ga4-quick.an

× データソースを作成

1 データソースの詳細 2 マッピング

データソースの詳細

データソース名*

Cost_Download_Template_1.csv

データの種類 ②

- 費用データ**
Google 以外のソースから広告費用データをインポートします。このアップロードタイプは、費用データと、レポートやクエリの実行時のキャンペーン、ソース、メディアを関連付けます。このデータを削除しても、基になるイベントデータに影響はありません。
- アイテムデータ**
ブランド、カテゴリ、および/またはパターンなどの商品メタデータをインポートします。このデータがアップロードされると、収集されたパラメータの代わりにイベント処理や、レポートで過去のデータの修正に使用されます。このデータを削除するには、データの削除が必要です。
- ユーザー ID 別のユーザーデータ**
User-ID データをインポートし、他のデータソースに基づいて、アップロードする User-ID が新しいユーザー ID かどうかを自動的に判断し、このデータを削除するには、ユーザーまたはデータの削除が必要です。
- クライアント ID 別のユーザーデータ**
Client-ID データおよび/または App_Instance_ID データをインポートし、他のデータソースに基づいて、アップロードする Client-ID が新しいユーザー ID かどうかを自動的に判断し、このデータを削除するには、ユーザーまたはデータの削除が必要です。
- オフライン イベントデータ**
インターネット接続がない場合、あるいはソースが SDK または Measurement Protocol 経由でのリアルタイム イベント収集をサポートできない場合、ソースからオフライン イベントをインポートします。これらのイベントはアップロードされると、関連するタイムスタンプ、またはタイムスタンプがない場合はアップロード時刻を使用して、SDK 経由で収集された場合と同様に処理されます。このデータを削除するには、ユーザーまたはデータの削除が必要です。

インポートするデータのアップロード

CSV ファイル

CSVをアップロード

データの種類を選択します。
(次ページに詳細)

公式ヘルプ: <https://support.google.com/analytics/answer/10071301?hl=ja>

インポート プロセス (4)

データの種類

データの種類	解説
費用データ	Google 以外のソースから広告費用データをインポートします。このアップロードタイプは、費用データと、レポートやクエリの実行時のキャンペーン、ソース、メディアを関連付けます。このデータを削除しても、基になるイベントデータに影響はありません。
アイテムデータ	ブランド、カテゴリ、および / またはパターンなどの商品メタデータをインポートします。このデータがアップロードされると、収集されたパラメータの代わりにイベント処理や、レポートで過去のデータの修正に使用されます。このデータを削除するには、データの削除が必要です。
ユーザー ID 別のユーザーデータ	User-ID データをインポートし、他のデータソースに基づいて、アップロードする User-ID ごとに新しいユーザープロパティの値を更新して関連付けます。このデータを削除するには、ユーザーまたはデータの削除が必要です。
クライアント ID 別のユーザーデータ	Client-ID データおよび / または App_Instance_ID データをインポートし、他のデータソースに基づいて、アップロードする ID ごとに新しいユーザープロパティの値を更新して関連付けます。このデータを削除するには、ユーザーまたはデータの削除が必要です。 ※「ユーザー ID」と「クライアント ID」については、当セミナーサイトのこちらの解説記事をご参照ください。 https://ga4-quick.and-aaa.com/archives/1092
オフライン イベントデータ	インターネット接続がない場合、あるいはソースが SDK または Measurement Protocol 経由でのリアルタイム イベント収集をサポートできない場合、ソースからオフライン イベントをインポートします。これらのイベントはアップロードされると、関連するタイムスタンプ、またはタイムスタンプがない場合はアップロード時刻を使用して、SDK 経由で収集された場合と同様に処理されます。このデータを削除するには、ユーザーまたはデータの削除が必要です。

公式ヘルプ: <https://support.google.com/analytics/answer/10071301?hl=ja>

インポート プロセス (5)

データの種類を選択したら、「CSV をアップロード」をクリックします。

アナリティクス | 全てのアカウント > and,a | ga4-quick.an

管理 ユーザー

プロパティ + プロパティを作成
ga4-quick-and-aaa.com - GA4 (302974..)

設定アシスタント
プロパティ設定
プロパティのアクセス管理
データストリーム
データ設定
データインポート
レポート用識別子
アトリビューション設定
プロパティ変更履歴
データ削除リクエスト

サービスとのリンク
Google 広告のリンク
アドマネージャーのリンク
BigQuery のリンク
ディスプレイ & ビデオ 360 のリンク

データソースを作成

1 データソースの詳細 — 2 マッピング

データソースの詳細

データソース名*

Cost_Download_Template_csv

データの種類

費用データ

Google 以外のソースから広告費用データをインポートします。このアップロードタイプは、費用データと、レポートやクエリの実行時のキャンペーン、ソース、メディアを関連付けます。このデータを削除しても、基になるイベントデータに影響はありません。

アイテムデータ

ブランド、カテゴリ、および/またはパターンなどの商品メタデータをインポートします。このデータがアップロードされると、収集されたパラメータの代わりにイベント処理や、レポートで過去のデータの修正に使用されます。このデータを削除するには、データの削除が必要です。

ユーザー ID 別のユーザーデータ

User-ID データをインポートし、他のデータソースに基づいて、アップロードする User-ID ごとに新しいユーザー プロパティの値を更新して関連付けます。このデータを削除するには、ユーザーまたはデータの削除が必要です。

クライアント ID 別のユーザーデータ

Client-ID データおよび/または App_Instance_ID データをインポートし、他のデータソースに基づいて、アップロードする ID ごとに新しいユーザー プロパティの値を更新して関連付けます。このデータを削除するには、ユーザーまたはデータの削除が必要です。

オフライン イベントデータ

インターネット接続がない場合、あるいはソースが SDK または Measurement Protocol 経由でのリアルタイム イベント収集をサポートできない場合、ソースからオフライン イベントをインポートします。これらのイベントはアップロードされると、関連するタイムスタンプ、またはタイムスタンプがない場合はアップロード時刻を使用して、SDK 経由で収集された場合と同様に処理されます。このデータを削除するには、ユーザーまたはデータの削除が必要です。

インポートするデータのアップロード

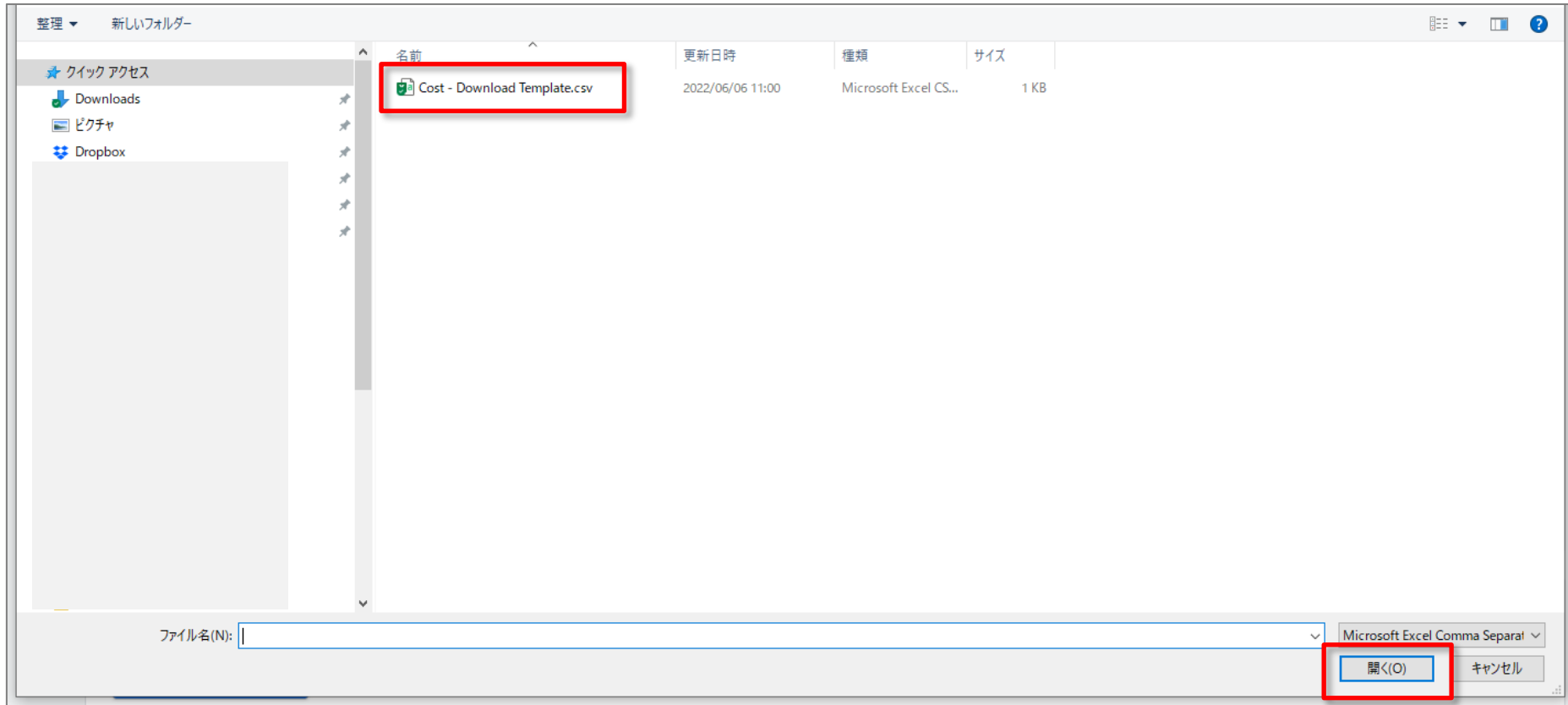
CSV ファイル

CSV をアップロード

公式ヘルプ: <https://support.google.com/analytics/answer/10071301?hl=ja>

インポート プロセス (6)

パソコン上の CSV ファイルを選択して「開く」をクリックします。



公式ヘルプ: <https://support.google.com/analytics/answer/10071301?hl=ja>

インポート プロセス (7)

「次へ」をクリックして、マッピングに進みます。

× データソースを作成 次へ

1 データソースの詳細 ——— 2 マッピング

データソースの詳細

データソース名*

データの種別

費用データ
Google 以外のソースから広告費用データをインポートします。このアップロードタイプは、費用データと、レポートやクエリの実行時のキャンペーン、ソース、メディアを関連付けます。このデータを削除しても、基になるイベントデータに影響はありません。

アイテムデータ
ブランド、カテゴリ、および / またはパターンなどの商品メタデータをインポートします。このデータがアップロードされると、収集されたパラメータの代わりにイベント処理や、レポートで過去のデータの修正に使用されます。このデータを削除するには、データの削除が必要です。

ユーザー ID 別のユーザーデータ
User-ID データをインポートし、他のデータソースに基づいて、アップロードする User-ID ごとに新しいユーザー プロパティの値を更新して関連付けます。このデータを削除するには、ユーザーまたはデータの削除が必要です。

クライアント ID 別のユーザーデータ
Client-ID データおよび / または App_Instance_ID データをインポートし、他のデータソースに基づいて、アップロードする ID ごとに新しいユーザー プロパティの値を更新して関連付けます。このデータを削除するには、ユーザーまたはデータの削除が必要です。

オフライン イベントデータ
インターネット接続がない場合、あるいはソースが SDK または Measurement Protocol 経由でのリアルタイム イベント収集をサポートできない場合、ソースからオフライン イベントをインポートします。これらのイベントはアップロードされると、関連するタイムスタンプ、またはタイムスタンプがない場合はアップロード時刻を使用して、SDK 経由で収集された場合と同様に処理されます。このデータを削除するには、ユーザーまたはデータの削除が必要です。

インポートするデータのアップロード

CSV ファイル

Cost - Download Template.csv

8 列, 220 バイト

公式ヘルプ: <https://support.google.com/analytics/answer/10071301?hl=ja>

インポート プロセス (8)

互いにマッピングする、「アナリティクスのフィールド」と「インポートするデータのフィールド」を選択します(次ページに拡大キャプチャー)。必要に応じてフィールド名を編集します。

データソースを作成した後は、マッピングの設定を編集できなくなります。

アナリティクスのフィールド	インポートするデータのフィールド
<input checked="" type="checkbox"/> キャンペーン ID	項目を選択
<input checked="" type="checkbox"/> キャンペーンの参照元	項目を選択
<input checked="" type="checkbox"/> キャンペーンのメディア	項目を選択
<input checked="" type="checkbox"/> キャンペーン名	項目を選択
<input checked="" type="checkbox"/> 日付	項目を選択
<input type="checkbox"/> 1日の費用	
<input type="checkbox"/> 1日のクリック数	
<input type="checkbox"/> 1日の表示回数	

アナリティクスのフィールド

インポートするデータのフィールド

公式ヘルプ: <https://support.google.com/analytics/answer/10071301?hl=ja>

インポート プロセス (9)

(前ページからの続き)互いにマッピングする、「アナリティクスのフィールド」と「インポートするデータのフィールド」を選択します。

The screenshot shows the 'Data Import' process in Google Analytics. The 'Mapping' step is active. The 'Analytics Fields' column lists various metrics, and the 'Import Fields' column lists the corresponding fields from the imported data. A dropdown menu is open for the 'Campaign ID' field, showing the selected items: 'campaign_name', 'campaign_id', 'source', 'medium', 'date', and 'impressions'.

Analytics Fields	Import Fields	Import Data Samples
<input checked="" type="checkbox"/> Campaign ID	campaign_name bing2, facebook2, twitter2	
<input checked="" type="checkbox"/> Campaign Reference	campaign_id bing_00001, facebook_00002, twitter_00003	
<input checked="" type="checkbox"/> Campaign Media	source bing, facebook, twitter	
<input checked="" type="checkbox"/> Campaign Name	medium cpc, cpc, cpc	
<input checked="" type="checkbox"/> Date	date 2022-06-05, 2022-06-05, 2022-06-05	
<input type="checkbox"/> Daily Cost	impressions 3, 6, 7	
<input type="checkbox"/> Daily Clicks		
<input type="checkbox"/> Daily Impressions		

インポート プロセス (9)

「アナリティクスのフィールド」と「インポートするデータのフィールド」の選択が終わったら、「インポート」をクリックします。

The screenshot shows the 'データソースを作成' (Create Data Source) interface in Google Analytics. The 'マッピング' (Mapping) step is active. The table below shows the mapping of Analytics fields to import data fields.

アナリティクスのフィールド	インポート済みのフィールド	インポートデータのサンプル
<input checked="" type="checkbox"/> キャンペーン ID	campaign_id	bing_11111 facebook_22222 twitter_33333
<input checked="" type="checkbox"/> キャンペーンの参照元	source	bing facebook twitter
<input checked="" type="checkbox"/> キャンペーンのメディア	medium	cpc cpc cpc
<input checked="" type="checkbox"/> キャンペーン名	campaign_name	bing facebook twitter
<input checked="" type="checkbox"/> 日付	date	2022-06-06 2022-06-06 2022-06-06
<input checked="" type="checkbox"/> 1日の費用	cost	1 2 4
<input checked="" type="checkbox"/> 1日のクリック数	clicks	1 2 4
<input checked="" type="checkbox"/> 1日の表示回数	impressions	1 2 4

公式ヘルプ: <https://support.google.com/analytics/answer/10071301?hl=ja>

既存のデータソース(既にインポートしてあるデータソース)にデータをアップロードする (1)

既存のデータソースにデータをアップロードする

既存のデータソースの行の「今すぐインポート」をクリックします。

The screenshot shows the Google Analytics interface for data import. The main heading is 'データのインポート' (Data Import). Below the heading, there is a table of existing data sources. The table has three columns: 'データソース名' (Data Source Name), 'データ型' (Data Type), and 'ステータス' (Status). The first row shows 'Cost_Download_Template_csv' as the data source name, '費用データ' (Expense Data) as the data type, and '前回のインポート: 6月 6 2022 12:57 午後 UTC+9' (Last Import: June 6, 2022, 12:57 PM UTC+9) as the status. A blue button labeled '今すぐインポート' (Import Now) is located to the right of the status column for this row and is highlighted with a red box. Above the table, there is a 'データソースを作成' (Create Data Source) button. The left sidebar contains various navigation options, including 'データインポート' (Data Import) which is highlighted in red.

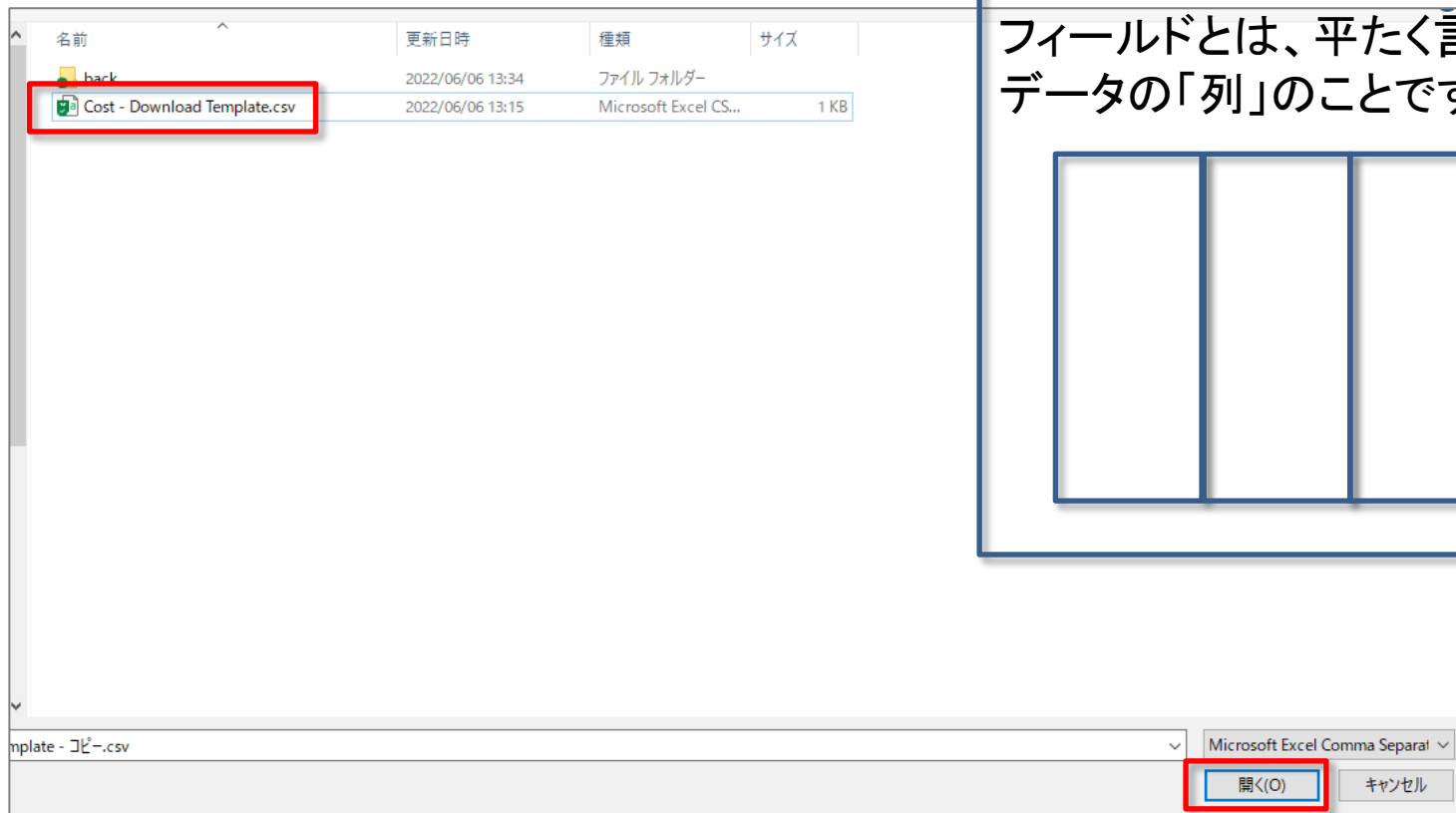
データソース名	データ型	ステータス
Cost_Download_Template_csv	費用データ	前回のインポート: 6月 6 2022 12:57 午後 UTC+9

公式ヘルプ: <https://support.google.com/analytics/answer/10071301?hl=ja>

既存のデータソース(既にインポートしてあるデータソース)にデータをアップロードする (2)

データソースが CSV のインポート用に設定されている場合は、インポートする CSV ファイルを選択して「開く」をクリックします。

CSV ファイルには元のフィールドと同じフィールドか、フィールドのサブセットが含まれている必要があります。同じデータタイプに対して異なるフィールドをインポートする場合は、既存のデータソースを削除し、新しいデータソースを作成する必要があります。

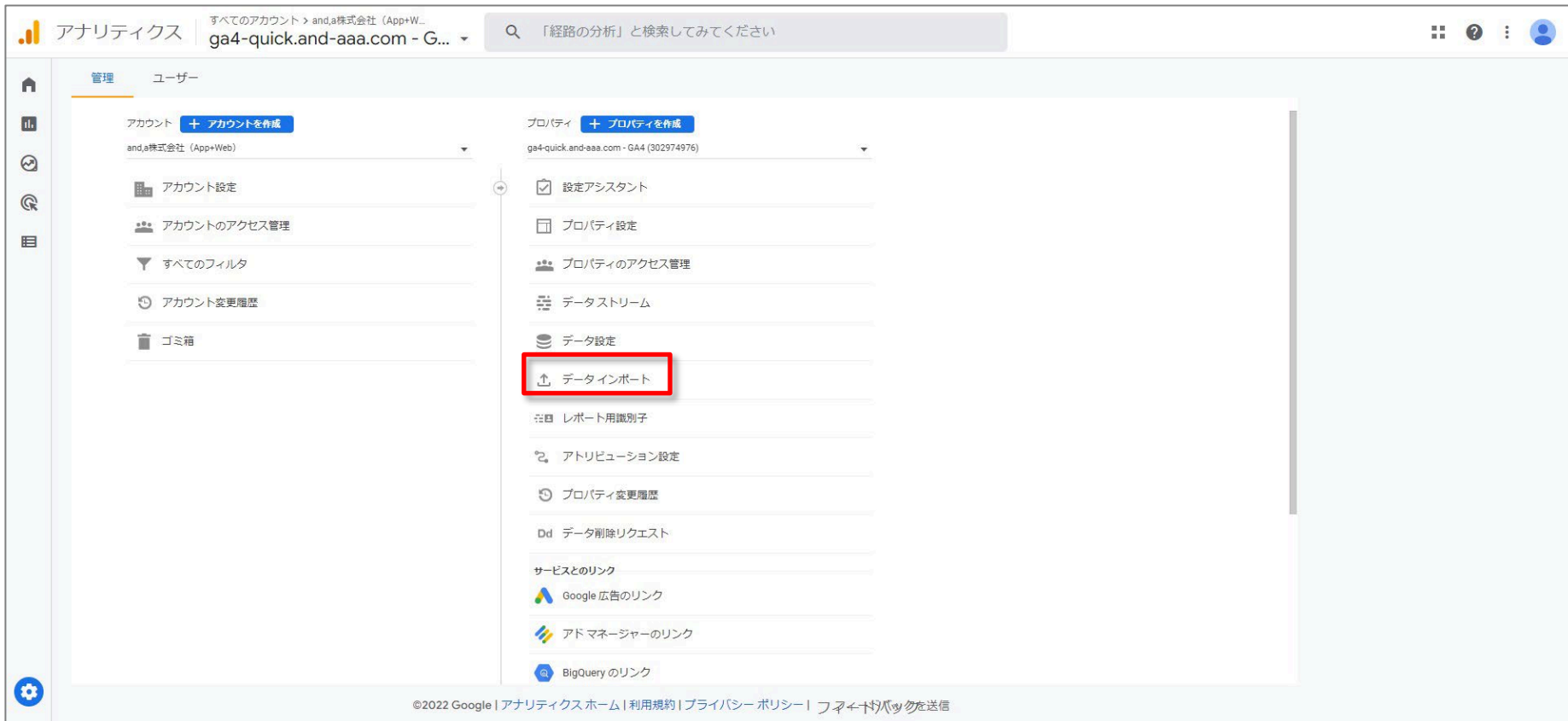


公式ヘルプ: <https://support.google.com/analytics/answer/10071301?hl=ja>

データソースの詳細の表示、新規データのインポート、データソースの削除 (1)

データソースの詳細の表示、新規データのインポート、データソースの削除について解説します。

管理 > プロパティ列 > データインポート をクリック。



The screenshot displays the Google Analytics 'Management' (管理) page for a user. The interface is divided into two main sections: 'Accounts' (アカウント) on the left and 'Properties' (プロパティ) on the right. In the 'Properties' section, the 'Data Import' (データインポート) option is highlighted with a red rectangular box. The breadcrumb path at the top of the content area is '管理 > ユーザー > プロパティ列 > データインポート'.

アカウント + アカウントを作成
and,a株式会社 (App+Web)

アカウント設定
アカウントのアクセス管理
すべてのフィルタ
アカウント変更履歴
ゴミ箱

プロパティ + プロパティを作成
ga4-quick.and-aaa.com - GA4 (302974976)

設定アシスタント
プロパティ設定
プロパティのアクセス管理
データストリーム
データ設定
データインポート
レポート用識別子
アトリビューション設定
プロパティ変更履歴
データ削除リクエスト

サービスとのリンク
Google 広告のリンク
アドマネージャーのリンク
BigQuery のリンク

©2022 Google | アナリティクス ホーム | 利用規約 | プライバシー ポリシー | お問い合わせ

公式ヘルプ: <https://support.google.com/analytics/answer/10071301?hl=ja>

データソースの詳細の表示、新規データのインポート、データソースの削除 (2)

目的のデータソースの行の「>」をクリックします。

アナリティクス | すべてのアカウント > and,a株式会社 (App+W...
ga4-quick.and-aaa.com - G... | 「ユーザー数で上位の国」と検索してみてください

管理 ユーザー

プロパティ [+ プロパティを作成](#)
ga4-quick.and-aaa.com - GA4 (302974...)

設定アシスタント

プロパティ設定

プロパティのアクセス管理

データストリーム

データ設定

データインポート

レポート用識別子

アトリビューション設定

プロパティ変更履歴

データ削除リクエスト

サービスとのリンク

- Google 広告のリンク
- アド マネージャーのリンク
- BigQuery のリンク
- ディスプレイ & ビデオ 360 のリンク

データのインポート

データインポートを使用すると、外部ソースからデータをアップロードし、アナリティクスのデータと結合できます。[データソースを作成] をクリックして、アップロードできるデータの種類をご確認ください。 [詳細](#)

[データソースを作成](#)

データソース名	データ型	ステータス	
Cost_Download_Template_csv	費用データ	前回のインポート: 6月 6 2022 1:38 午後 UTC+9	今すぐインポート >

©2022 Google | アナリティクス ホーム | 利用規約 | プライバシー ポリシー | [フィードバック](#) を送信

公式ヘルプ: <https://support.google.com/analytics/answer/10071301?hl=ja>

データソースの詳細の表示、新規データのインポート、データソースの削除 (3)

データソースの名前、データの種類、マッピング(次ページ)、アップロードごとの履歴を確認できます。

- **% インポート済み**: 正常にインポートされた行数を、インポートファイルの行数で割った値です。すべての行が正常にインポートされると、100% になります。
- **マッチ率**: プロパティにあるインポートファイルのキーの割合です(過去 90 日間)。過去 90 日間のデータが完全に関連しており実用的な場合は、100% になります。

The screenshot shows the 'Cost_Download_Template_csv' data source details page. Callouts identify the following elements:

- データソースの名前**: Points to the data source name 'Cost_Download_Template_csv'.
- データの種類**: Points to the data type '費用データ'.
- % インポート済み**: Points to the '% インポート済み' column in the import history table.
- マッチ率**: Points to the 'マッチ率' column in the import history table.

インポート時間	担当者	ステータス	% インポート済み	マッチ率
6月 6 2022 1:38 午後 UTC+9	nakata@and-aaa.com	インポート済み	100.0%	0.0%
6月 6 2022 12:57 午後 UTC+9	nakata@and-aaa.com	インポート済み	100.0%	0.0%

公式ヘルプ: <https://support.google.com/analytics/answer/10071301?hl=ja>

データソースの詳細の表示、新規データのインポート、データソースの削除 (4)

マッピングを確認できます。

The screenshot shows the Google Analytics interface. The main content area displays the details for a data source named 'Cost_Download_Template_csv'. A red box highlights the 'マッピング' (Mapping) tab, and a red arrow points to a modal dialog titled '× マッピング' (Mapping).

The 'マッピング' dialog shows a table mapping Analytics fields to importable fields:

アナリティクスのフィールド	インポート済みのフィールド
キャンペーン ID	campaign_id
キャンペーンの参照元	source
キャンペーンのメディア	medium
日付	date
キャンペーン名	campaign_name
1日の費用	cost
1日のクリック数	clicks
1日の表示回数	impressions

公式ヘルプ: <https://support.google.com/analytics/answer/10071301?hl=ja>

データソースの詳細の表示、新規データのインポート、データソースの削除 (5)

新しいデータをインポートするには:

「今すぐインポート」をクリックし、ご使用のパソコンにある CSV ファイルを選択します。

The screenshot shows the Google Analytics interface for a data source named 'Cost_Download_Template_csv'. The interface is divided into several sections:

- データソースの詳細:** Shows the data source name and type (費用データ).
- マッピング:** A section for mapping data fields.
- インポート履歴:** A table showing the history of imports.

A callout box labeled '今すぐインポート' points to a button in the 'インポート履歴' table. The table contains the following data:

インポート時間	担当者	ステータス	% インポート済み	マッチ率
6月 6 2022 1:38 午後 UTC+9	nakata@and-aaa.com	🟢 インポート済み	100.0%	0.0%
6月 6 2022 12:57 午後 UTC+9	nakata@and-aaa.com	🟢 インポート済み	100.0%	0.0%

公式ヘルプ: <https://support.google.com/analytics/answer/10071301?hl=ja>

データソースの詳細の表示、新規データのインポート、データソースの削除 (6)

データソースを削除する方法

全ページで見た3点アイコンをクリックし、削除をクリックします。



The screenshot shows the Google Analytics interface for a data source named 'Cost_Download_Template_csv'. The left sidebar contains navigation options like '管理' (Management) and 'ユーザー' (Users). The main content area is divided into sections: 'データソースの詳細' (Data source details), 'マッピング' (Mapping), and 'インポート履歴' (Import history). The 'インポート履歴' section contains a table with the following data:

インポート時間	担当者	ステータス	%インポート済み	マッチ率	
6月 6 2022 1:38 午後 UTC+9	nakata@and-aaa.com	🟢 インポート済み	100.0%	0.0%	>
6月 6 2022 12:57 午後 UTC+9	nakata@and-aaa.com	🟢 インポート済み	100.0%	0.0%	>

公式ヘルプ: <https://support.google.com/analytics/answer/10071301?hl=ja>

予約済みの名前および接頭辞 (1)

次の「イベント名」「イベントパラメータ名」「ユーザープロパティ名」および「接頭辞」は、アナリティクスが使用するため予約されています。予約済みの名前や接頭辞と合致する内容を含むデータをアップロードしようとしても、該当データはアップロードされません。

例:

- 予約済みの名前と同名のイベントのインポートを試みた場合、該当イベントおよびそのパラメータはインポートされません。
- インポートを試みたイベントの名前には問題がないものの、パラメータに予約済みの名前が使用されている場合、イベント自体はインポートされますが、予約済みの名前を含むパラメータはインポートされません。

予約済みのイベント名

ad_activeview
ad_activeview
ad_exposure
ad_impression
ad_query
adunit_exposure
app_clear_data
app_install

app_remove
app_update
error
first_open
first_visit
in_app_purchase
notification_dismiss
notification_foreground

notification_open
notification_receive
os_update
screen_view
session_start
user_engagement

公式ヘルプ: <https://support.google.com/analytics/answer/10071301?hl=ja>

予約済みの名前および接頭辞 (2)

予約済みのイベント
パラメータ名

firebase_conversion

予約済みのユー
ザー プロパティ名

first_open_after_install
first_open_time
first_visit_time
last_deep_link_referrer
user_id

予約済みの接頭辞(イベン
トパラメータおよびユー
ザー プロパティに適用)

ga_
google_
firebase_

公式ヘルプ: <https://support.google.com/analytics/answer/10071301?hl=ja>

データソースについて

データソースについて

「データソース」とは、アナリティクスにアップロードしたデータを保存するコンテナです。アップロードしたデータと既存データとの結合方法は、データソースによって制御されます。データソースの設定はプロパティレベルで行います。データソースは、データのアップロードに繰り返し使用できます。

プロパティに含まれるデータソースを管理するには、
管理 > プロパティ列 > データ インポート の順にクリックします。



The screenshot shows the Google Analytics 'Management' view for a property. The left sidebar contains navigation options like 'Account Settings', 'Account Access Management', and 'Account Change History'. The main content area is divided into 'Account' and 'Property' sections. Under the 'Property' section, the 'Data Settings' option is highlighted with a red box, and the 'Data Import' option is also highlighted with a red box. Other options visible include 'Settings Assistant', 'Property Settings', 'Property Access Management', 'Data Streams', 'Data Settings', 'Report Identifiers', 'Attribution Settings', 'Property Change History', and 'Data Deletion Request'.

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10071145?hl=ja&ref_topic=10054560

データソース タイプ

データソース タイプは、インポートするデータの種類と対応します。たとえば、「費用データ」「商品アイテムデータ」「ユーザーデータ」などの「データ型(データソース タイプ)」が存在します。データのアップロード先として使用できるディメンションと指標(スキーマ=データベースの構造)は、データソース タイプごとに異なります。

The screenshot shows the Google Analytics 'Data Import' interface. On the left is a navigation menu with options like 'プロパティ' (Property), '設定アシスタント' (Setup Assistant), and 'データインポート' (Data Import). The main content area is titled 'データのインポート' (Data Import) and includes a table of data sources. A red box highlights the 'データ型' (Data Type) column, where '費用データ' (Expense Data) is selected for the 'Cost_Download_Template_csv' source. The table also shows the 'ステータス' (Status) as '成功' (Success) and the last import date as '6月6日 2022 1:38 午後 UTC+9'. A 'データソースを作成' (Create Data Source) button is visible in the top right.

データソース名	データ型	ステータス
Cost_Download_Template_csv	費用データ	成功 前回のインポート: 6月6日 2022 1:38 午後 UTC+9

公式ヘルプ: <https://support.google.com/analytics/answer/10071301?hl=ja>

データソース スキーマ (1)

データソースを作成する際はスキーマを定義します。**スキーマ(=データベースの構造)とは、アップロードしたデータを既存のイベントデータと結合するための構造です。**

単純なスキーマは、キー ディメンション(「キー」)1 つと、インポートするディメンションまたは指標(それぞれ複数可)から成ります。

下記の例は、商品データです。

スキーマの例: 商品データ

キー ディメンション
(「キー」)

スコープ

イベント

スキーマキー

アイテム ID(商品 ID / SKU)(必須)

インポートするディメン
ションまたは指標(それ
ぞれ複数可)

インポートしたデータ

ディメンション:

- アイテム名
- アイテムのカテゴリ
- アイテムのカテゴリ(2-5)
- アイテムのブランド
- アイテムのバリエーション

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10071145?hl=ja&ref_topic=10054560

データソース スキーマ (2)

データをインポートする際、GA4 はイベントデータのキー値の中から、アップロードしたデータのキー値と一致するものを探します。一致する値が見つかったら、そのキーに関連付けられているディメンションと指標の値が、既存のイベントデータに追加されます（収集済みのデータが存在する場合は、アップロードしたデータに差し替えられます）。データソースのタイプによっては、複数のディメンションでキーを定義することもできます。インポートフィールドでは、ほとんどのデータソースタイプで複数のディメンションや指標を使用できます。

詳細:「商品データのインポート」(後述、公式ヘルプ:

<https://support.google.com/analytics/answer/10071144>)と「ユーザーデータのインポート」(後述、公式ヘルプ: <https://support.google.com/analytics/answer/10071143>)

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10071145?hl=ja&ref_topic=10054560

費用データをインポートする

キーおよびインポート ディメンション

重複したキーを含むファイルはアップロードしないでください。レポートのデータに不整合が発生する原因となる場合があります。

「費用データ」のインポートを活用することで、オンライン広告やマーケティングへの投資を包括的に分析して、投資収益率(ROI)を割り出したり、各キャンペーンのパフォーマンスを比較したりすることができます。

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10071305?hl=ja&ref_topic=10054560

費用データのインポートの仕組み

費用データのインポートでは、メール マーケティング キャンペーンやソーシャル メディア広告など、**Google 以外のキャンペーンで生成されたデータをインポート**します。

GA4 はこのデータを収益データおよびコンバージョンデータと結合して、キャンペーン、ソース、メディアごとに、**Google 以外のクリック単価やコンバージョン、Google 広告以外の費用対効果などの指標を算出**します。これにより、さまざまな広告活動のパフォーマンスデータをシームレスに比較できます。**このデータは、「ユーザー獲得」と「Google 広告以外の費用」レポート**で確認できます。

実際の広告の費用はキャンペーンの実施中に変化するため、同じキャンペーン ID のデータを定期的にアップロードすることで、レポートとデータ探索に最新の値が使用されます。

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10071305?hl=ja&ref_topic=10054560

The screenshot shows the Google Analytics interface for the account 'ga4-quick'. The navigation menu on the left includes 'Reports' (highlighted with a red box), 'Realtime', 'Users', 'Lifecycle', and 'Audience'. The 'Users' section is expanded, showing 'User Acquisition' (highlighted with a red box) and 'Costs other than Google Ads' (highlighted with a red box). Other items in the 'Users' section include 'User Properties', 'Technology', 'Engagement', 'Monetization', and 'Retention'.

費用データのインポートの仕組み カスタム キャンペーン URL の役割

リティクスのディメンション名	カスタム キャンペーン パラメータ	アナリティクスで設定される値
キャンペーン ID	utm_id	123_1a2b3c_abc
ソース	utm_source	ad network
メディア	utm_medium	cpc

GA4 プロパティでは、リンク先 URL で、

キャンペーン ID (utm_id)、

ソース (utm_source)、

メディア (utm_medium)

を指定する必要があります。

これで、アナリティクスはセッションと関連付けられたキャンペーントラッキング パラメータを取得し、アナリティクス データと外部の費用データソースを結合できます。

URL には、キャンペーン名 (utm_campaign)、キャンペーンのキーワード (utm_term)、キャンペーンのコンテンツ (utm_content) など、これまでユニバーサル アナリティクス プロパティで使用されていたパラメータを追加できます。ただし、これらのパラメータは必須ではなく、インポート ファイルに含めることはできません。

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10071305?hl=ja&ref_topic=10054560

データをアップロードする (1)

「利用規約を確認してください」と表示された場合は、確認してください。

× データソースを作成

1 データソースの詳細 — 2 マッピング

データソースの詳細

データソース名*

データの種類 ②

費用データ
Google 以外のソースから広告費用データをインポートします。このアップロードタイプは、費用データと、レポートやクエリの実行時のキャンペーン、ソース、メディアを関連付けます。このデータを削除しても、基になるイベントデータに影響はありません。

アイテムデータ
ブランド、カテゴリ、および/または/パターンの商品メタデータをインポートします。このデータがアップロードされると、収集された/ラメータの代わりにイベント処理や、レポートで過去のデータの修正に使用されます。このデータを削除するには、データの削除が必要です。

ユーザー ID 別のユーザーデータ
User-ID データをインポートし、他のデータソースに基づいて、アップロードする User-ID ごとに新しいユーザー プロパティの値を更新して関連付けます。このデータを削除するには、ユーザーまたはデータの削除が必要です。

クライアント ID 別のユーザーデータ
Client-ID データおよび/または App_Instance_ID データをインポートし、他のデータソースに基づいて、アップロードする ID ごとに新しいユーザー プロパティの値を更新して関連付けます。このデータを削除するには、ユーザーまたはデータの削除が必要です。

オフライン イベントデータ
インターネット接続がない場合、あるいはソースが SDK または Measurement Protocol 経由でのリアルタイム イベント収集をサポートできない場合、ソースからオフライン イベントをインポートします。これらのイベントはアップロードされると、配達するタイムスタンプ、またはタイムスタンプがない場合はアップロード時刻を使用して、SDK 経由で収集された場合と同様に処理されます。このデータを削除するには、ユーザーまたはデータの削除が必要です。

① ユーザー属性をインポートするには、規約に同意する必要があります

利用規約を確認してください

インポートするデータのアップロード

CSV ファイル

CSV をアップロード

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10071305?hl=ja&ref_topic=10054560

データをアップロードする (2)

費用のディメンションと指標の CSV ファイルを作成します(サンプルを後のページに掲載)。

データをアップロードする

アップロードの一般的な手順については、テキストの前のパートで説明してあります。

データソースを作成する際は、「費用データ」を選択します。

アナリティクス and,a株式会社

データソースを作成

1 データソースの詳細 2 マッピング

データソースの詳細

データソース名*

データの種類の

費用データ
Google 以外のソースから広告費用データをインポートします。このアップロードタイプは、費用データと、レポートやクエリの実行時のキャンペーン、ソース、メディアを関連付けます。このデータを削除しても、基になるイベントデータに影響はありません。

アイテムデータ
ブランド、カテゴリ、および/またはパターンなどの商品メタデータをインポートします。このデータがアップロードされると、収集されたパラメータの代わりにイベント処理や、レポートで過去のデータの修正に使用されます。このデータを削除するには、データの削除が必要です。

ユーザー ID 別のユーザーデータ
User-ID データをインポートし、他のデータソースに基づいて、アップロードする User-ID ごとに新しいユーザー プロパティの値を更新して関連付けます。このデータを削除するには、ユーザーまたはデータの削除が必要です。

クライアント ID 別のユーザーデータ
Client-ID データおよび/または App_Instance_ID データをインポートし、他のデータソースに基づいて、アップロードする ID ごとに新しいユーザー プロパティの値を更新して関連付けます。このデータを削除するには、ユーザーまたはデータの削除が必要です。

オフライン イベントデータ
インターネット接続がない場合、あるいはソースが SDK または Measurement Protocol 経由でのリアルタイム イベント収集をサポートできない場合、ソースからオフライン イベントをインポートします。これらのイベントはアップロードされると、関連するタイムスタンプ、またはタイムスタンプがない場合はアップロード時刻を使用して、SDK 経由で収集された場合と同様に処理されます。このデータを削除するには、ユーザーまたはデータの削除が必要です。

インポートするデータのアップロード

CSV ファイル

CSV をアップロード

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10071305?hl=ja&ref_topic=10054560

データをアップロードする (3)

最初の列には次の情報が表示されます。

- データを結合するアナリティクス フィールド(この例の場合は、「キャンペーン ID」「キャンペーンの参照元」「キャンペーンのメディア」「日付」)。「スキーマキー」とも呼ばれます。
- CSV のフィールドと一致するキャンペーンのディメンションと指標(例:「キャンペーン名」「1日の費用」など)。

「キャンペーン ID」「キャンペーンの参照元」「キャンペーンのメディア」は、リンク先 URL で使用したカスタム キャンペーン パラメータ(utm_id、utm_source、utm_medium)と一致します。

× マッピング	
アナリティクスのフィールド	インポート済みのフィールド
キャンペーン ID	campaign_id
キャンペーンの参照元	source
キャンペーンのメディア	medium
日付	date
キャンペーン名	campaign_name
1日の費用	cost
1日のクリック数	clicks
1日の表示回数	impressions

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10071305?hl=ja&ref_topic=10054560

データをアップロードする (4)

2番目の列では、CSVで一致するフィールドを選択します。

×	マッピング	
	アナリティクスのフィールド	インポート済みのフィールド
	キャンペーン ID	campaign_id
	キャンペーンの参照元	source
	キャンペーンのメディア	medium
	日付	date
	キャンペーン名	campaign_name
	1日の費用	cost
	1日のクリック数	clicks
	1日の表示回数	impressions

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10071305?hl=ja&ref_topic=10054560

データをアップロードする (5)

データをアップロードしてから、レポート、オーディエンス、データ探索でそのデータを使用できるようになるまでには、**最大 24 時間**ほどかかります。指標とキャンペーンプロパティをユーザー アクティビティに関連付けるには、データのアップロード後にユーザーがキャンペーンで操作を行う必要があります。

指標とディメンション値を上書きするには、新しい指標と値をアップロードします。

(以下、「費用データ」「アイテムデータ」「ユーザーデータ」「オフライン イベントデータ」共通)

データ アップロード サービスから費用データソースを削除しても、関連するキャンペーンのディメンションと指標に保存されている値は削除されません。データ インポートでアップロードしたデータを完全に削除するためには、他の収集手法の場合と同様に、ユーザー削除やデータ削除が必要となることもあります。

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10071305?hl=ja&ref_topic=10054560

データをアップロードする (6)

データソースの詳細

凡例

- スコープ: インポート ディメンション値に関連付けるイベントを指定します。スコープには、ヒット、セッション、ユーザー、商品の 4 つのレベルがあります。(スコープの詳細: <https://support.google.com/analytics/answer/2709828#scope&zipy=%2C%E3%81%93%E3%81%AE%E8%A8%98%E4%BA%8B%E3%81%AE%E5%86%85%E5%AE%B9>)
- スキーマ: インポートしたデータの構造を構成するディメンションと指標を指定します。アップロードファイルのヘッダーは、該当するデータソースについて定義したスキーマと一致する必要があります。

スキーマとして示しているディメンションと指標はあくまで参考用で、すべてが網羅されていない可能性があります。実際に使用できるディメンションと指標は、データソースの作成時に管理画面に表示されます。

スコープ	このデータは、1 日ごとの集計データであり、セッションやユーザーをまたいでさまざまなイベントをまとめたものなので、スコープが存在しません。
スキーマ	<p>次のディメンションは必須です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • キャンペーン ID (utm_id) • ソース (utm_source) • メディア (utm_medium) • 日付 (ISO 8601: YYYY-MM-DD) <p>次のディメンションは省略可能ですが、指定することをおすすめします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 名前 <p>次の指標を 1 つ以上含める必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • クリック数 (1 日の値。省略可) • 費用 (0,000.00 形式の 1 日の値。省略可だが通常含まれる) • インプレッション数 (1 日の値。省略可)

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10071305?hl=ja&ref_topic=10054560

データをアップロードする (7)

テンプレート

以下は、費用データの CSV テンプレートのサンプルです。

```
campaign_name,campaign_id,source,medium,date,impressions,clicks,cost
bing,bing_11111,bing,cpc,2022-06-06,1,1,1
facebook,facebook_22222,facebook,cpc,2022-06-06,2,2,2
twitter,twitter_33333,twitter,cpc,2022-06-06,4,4,4
```

公式ヘルプから、費用データの CSV インポート用テンプレートをダウンロードする

<https://storage.googleapis.com/support-kms-prod/sOc7Qcdy1akKPr9GmwdQSlcesn4eLPBn84Na>

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10071305?hl=ja&ref_topic=10054560

[参考] 他のプラットフォームから費用データをインポートする (1)

このセクションでは、キャンペーンの費用データを各種プラットフォーム (Facebook、Twitter、Microsoft など) からエクスポートする際の一般的なガイドライン、および各プラットフォームのネイティブドキュメントへのリンクを記載しています。

これらのプラットフォームは、アナリティクスで使用できるものと同じ形式でデータを提供するとは限りません。したがって、これらのプラットフォームからエクスポートしてアナリティクスにインポートするデータが、アナリティクスで使用可能な形式 (ID、ソース、メディア、日付など) であるかどうかを確認する必要があります。

エクスポートするデータが、次の必須、推奨、または省略可の各ディメンションと指標に一致することを確認してください。また、ここにはないものが含まれないようにしてください。

- ID (必須)
- ソース (必須)
- メディア (必須)
- 日付 (必須)
- 名前 (省略可だが推奨される)
- 費用 (省略可だが通常含まれる)
- クリック数 (省略可)
- 表示回数 (省略可)

キャンペーン ID の収集

次ページに示すベンダーを含めた多数のベンダーが、クリック ターゲット (エンドユーザーがクリックするサイトへのリンク) 内にキャンペーン ID、名前、ソース、メディアを追加するためのさまざまな仕組みを提供しています。ベンダーが提供する自動入力機能が利用可能な場合は、使用することをおすすめします。自動入力機能を利用できない場合は、完全な URL をベンダーに直接提供しなければならない場合があります。

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10071305?hl=ja&ref_topic=10054560

[参考] 他のプラットフォームから費用データをインポートする (2)

Facebook

Facebook の広告マネージャ

(<https://www.facebook.com/business/help/849477685213347>)を使用してデータをエクスポートします。

1. 広告マネージャでエクスポートとインポートのアイコンをクリックします。
2. エクスポートをカスタマイズするオプションを選択して、上記のディメンションと指標を含めます。

関連資料

広告マネージャのフィールド名とインポート/エクスポート用スプレッドシートの列名の違い(<https://www.facebook.com/business/help/1462433740708893>)

Firebase Android アプリ

campaign_details イベントを使用すると、ウェブ キャンペーン用の utm_id で収集されるものと同等の情報を収集できます。

FirebaseAnalytics.Param.CP1 (カスタム パラメータ)を使用して情報を収集することもできます。

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10071305?hl=ja&ref_topic=10054560

[参考] 他のプラットフォームから費用データをインポートする (3)

Firebase iOS アプリ

AnalyticsParameterCampaign

(<https://firebase.google.com/docs/reference/swift/firebaseanalytics/api/reference/Constants#kFIRParameterNames>) 定数を使用すると、ウェブキャンペーン用の utm_id で収集されるものと同等の情報を収集できます。

LinkedIn

キャンペーンマネージャー(<https://www.linkedin.com/help/lms/answer/a441785/export-reports-in-campaign-manager>)を使用して、キャンペーン データをエクスポートします。

[レポートの種類] に [キャンペーンのパフォーマンス] を選択すると、CSV のエクスポートに使用する [列ビュー] を選択できます。

上記のディメンションと指標のみを選択してください(それ以外を選択すると、インポートは失敗します)。

関連資料

- キャンペーンマネージャーでエクスポートできるレポート
(<https://www.linkedin.com/help/lms/answer/a452049>)
- キャンペーンマネージャーのパフォーマンス メトリック
(<https://www.linkedin.com/help/lms/answer/a445476>)

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10071305?hl=ja&ref_topic=10054560

[参考] 他のプラットフォームから費用データをインポートする (4)

Microsoft

Microsoft Advertising (<https://about.ads.microsoft.com/en-my/resources/training/microsoft-advertising-reports>) のレポートを使用して、データの CSV ファイルをエクスポートできます。

上記のディメンションと指標を含むキャンペーンレポートを作成します。
[ダウンロード] オプションを使用してデータをエクスポートします。

Microsoft Advertising Editor (<https://about.ads.microsoft.com/en-us/resources/training/microsoft-advertising-editor-exporting-and-importing>) を使ってキャンペーンのデータをエクスポートすることもできます。

Twitter

キャンペーンのダッシュボードの右上にある [エクスポート] オプションでキャンペーンデータの CSV ファイルをエクスポート (<https://business.twitter.com/ja/help/campaign-measurement-and-analytics/export-csv-definitions.html>) できます。

Twitter ではソースとメディアのネイティブ サポートは提供されていません。ソースは「twitter」としてハードコーディング (値を直接書き込む) できます。メディアに指定する値は、各キャンペーン ID に使用する個々のメディアを反映している必要があります。

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10071305?hl=ja&ref_topic=10054560

[参考] 他のプラットフォームから費用データをインポートする (5)

Verizon

Native Ad Platform (<https://developer.verizonmedia.com/native/advertiser/guide/bulk/>)
の一括ファイルを使用すると、広告主アカウントからキャンペーンデータをダウンロードして編集できます。

デフォルトのダウンロードには、アナリティクスにインポートできないその他のディメンションが含まれます。インポートする前にこれらの列を削除し、必要に応じて行を統合して、CSV ファイルに上記のディメンションと指標のみが含まれるようにする必要があります(この操作を行わないとインポートは失敗します)。

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10071305?hl=ja&ref_topic=10054560

商品データのインポート

商品データのインポート

重複したキーを含むファイルはアップロードしないでください。レポートのデータに不整合が発生する原因となる場合があります。

近日提供予定(2022年6月7日現在): 商品データのプロセス実行時のデータ結合。プロセス実行時のデータ結合がサポートされると、オーディエンスやリマーケティングなど、アナリティクスの他の機能で商品データを利用できるようになります。

商品データのインポートを活用すると、商品カタログ全体を Google アナリティクスに取り込むことができます。これにより、ユーザー行動、サイトのトラフィック、e コマースの収益、コンバージョンなどを、サイズ、色、スタイルなどの商品固有データや、ビジネス内容に応じた商品のディメンションとともに測定することが可能です。

商品データをアナリティクスにインポートすると、イベントとともに送信する e コマース関連データを簡素化および削減できます。データ収集時にアイテム ID や SKU (Stock Keeping Unit、最小の管理単位) だけアナリティクスに送信しておけば、あとはインポート済みの商品データとの照合により、e コマース関連のディメンションや指標を取得してレポートに表示できるためです。

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10071144?hl=ja&ref_topic=10054560

商品データのインポートの仕組み (1)

この機能を使用するには、オンライン販売の推奨イベント(公式ヘルプ:
<https://support.google.com/analytics/answer/9267735?hl=ja>)を収集している必要があります。

商品データのインポートでは、「商品アイテム ID」ディメンションをキーとして使用します。
イベントとともに1つまたは複数のアイテム IDを送信することが可能です。

商品データのインポートでは、収集済みおよび収集中のイベントの `item_id` を、インポートした商品フィールドの値と紐付けることにより、当初収集した値の代わりに(オーディエンス、レポート、データ探索ツールでは)アップロードした値を表示します。

たとえば、レポート内で `item_id` が(個別に、または集計データとして)使用されていると、アナリティクスは当初収集した値をアップロードした値に置き換えてレポートに表示します。これにより、収集済みの値を修正またはアップデートすることができ、データの構造再編や再活用に役立ちます。また、クエリ時点で、まだ処理されていない新しいアップロード済みの値が存在する場合、アナリティクスは処理済みの値の代わりに新しい値を使用します。

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10071144?hl=ja&ref_topic=10054560

商品データのインポートの仕組み (2)

データアップロードサービスから商品データソースを削除しても、関係する商品の商品ディメンションに保存された値は(変更されている可能性があるため)削除されません。この方法でアップロードしたデータを完全に削除するためには、他の収集手法の場合と同様に、データ削除が必要となることもあります。

インポートされたデータは、処理が完了するまでレポートには表示されません。流入するイベントデータにインポート済みデータが適用されるようになるまで、**処理完了から最大24時間**かかることがあります。

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10071144?hl=ja&ref_topic=10054560

分析と対応

デフォルトの商品ディメンション(例: アイテムのブランド、アイテムのカテゴリ、アイテム名)がeコマースでの購入レポートに表示されます。

「データ探索ツール」の商品データは、「目標到達プロセス」と「セグメントの重複」の探索に使用できます。

※「探索」については、当セミナーの「探索」の回のアーカイブをご参照ください。

また「データ探索ツール」では、インポートした商品データをもとに、ユーザーをショッピング行動に応じてセグメント化することが可能です。

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10071144?hl=ja&ref_topic=10054560

探索「目標到達プロセス」

商品データは、「目標到達プロセス」と「セグメントの重複」の探索に使用できます。

※「探索」については、当セミナーの「探索」の回のアーカイブをご参照ください。

また「データ探索ツール」では、インポートした商品データを元に、ユーザーをショッピング行動に応じてセグメント化することが可能です。

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10071144?hl=ja&ref_topic=10054560

× ディメンションの選択 5/180 件を選択中

検索 ディメンション

全年齢 180 事前定義 165 カスタム 15

ディメンション名

- ▼ e コマース
 - オーダー クーボン
 - カテゴリ
 - サービス名
 - 取引 ID
 - 商品 ID
 - Item category [アイテムのカテゴリ]
 - アイテム ID
 - アイテム プロモーション ID
 - アイテム プロモーション名
 - アイテムのカテゴリ 2
 - アイテムのカテゴリ 3
 - アイテムのカテゴリ 4
 - アイテムのカテゴリ 5
 - アイテムのクーポン
 - アイテムのブランド
 - アイテムのプロモーション (クリエイティブのスロット)
 - アイテムのプロモーション (クリエイティブ名)
 - アイテムの地域 ID

CSV ファイルを作成する

商品ディメンションの CSV ファイルを作成します。次に例を示します。

```
item_id,item_name,item_cat1,item_cat2,item_cat3,item_cat4,item_cat5,brand,variant  
p100001,itemname1,cat1a,cat2b,cat3c,cat4d,cat5e,brand_foo,variant_small  
p100002,itemname2,cat1a,cat2b,cat3c,cat4d,cat5e,brand_bar,variant_medium  
p100003,itemname3,cat1v,cat2w,cat3x,cat4y,cat5z,brand_bar,variant_large
```

公式ヘルプから、費用データの CSV インポート用テンプレートをダウンロードする
<https://storage.googleapis.com/support-kms-prod/LL9IXx92bk5roVtXwJL8jMKkhHwvy0MjW4Kb>

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10071144?hl=ja&ref_topic=10054560

CSV ファイルをアップロードする (1)

データをアップロードする

アップロードの一般的な手順については、前出の「データ インポートについて」に記載されています。

データソースを作成する際は、「商品データ」を選択します。

アナリティクスのフィールドをインポートしたフィールドにマッピングすると、次のように表示されます。(次ページに解説)

アナリティクスのフィールド	インポート済みのフィールド	インポートデータのサンプル
<input checked="" type="checkbox"/> ID	item_id	p100001 p100002 p100003
<input checked="" type="checkbox"/> 名前	item_name	itemname1 itemname2 itemname3
<input checked="" type="checkbox"/> カテゴリ 1	item_cat1	cat1a cat1a cat1v
<input checked="" type="checkbox"/> カテゴリ 2	item_cat2	cat2b cat2b cat2w
<input checked="" type="checkbox"/> カテゴリ 3	item_cat3	cat3c cat3c cat3x
<input checked="" type="checkbox"/> カテゴリ 4	item_cat4	cat4d cat4d cat4y
<input checked="" type="checkbox"/> カテゴリ 5	item_cat5	cat5e cat5e cat5z
<input checked="" type="checkbox"/> ブランド	brand	brand_foo brand_bar brand_bar
<input checked="" type="checkbox"/> パターン	variant	variant_small variant_medium variant_large

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10071144?hl=ja&ref_topic=10054560

CSV ファイルをアップロードする (2)

最初の列には次の情報が表示されます。

データの結合先となるアナリティクス フィールド(この場合は ID)。「スキーマキー」とも呼ばれます。

CSV のフィールドと一致する商品ディメンション(例: 名前、ブランドなど)。

2 番目の列では、CSV で一致するフィールドを選択します。

アナリティクスのフィールド	インポート済みのフィールド
<input checked="" type="checkbox"/> ID	item_id
<input checked="" type="checkbox"/> 名前	item_name
<input checked="" type="checkbox"/> カテゴリ 1	item_cat1
<input checked="" type="checkbox"/> カテゴリ 2	item_cat2
<input checked="" type="checkbox"/> カテゴリ 3	item_cat3
<input checked="" type="checkbox"/> カテゴリ 4	item_cat4
<input checked="" type="checkbox"/> カテゴリ 5	item_cat5
<input checked="" type="checkbox"/> ブランド	brand
<input checked="" type="checkbox"/> パターン	variant

最初の列

2 番目の列

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10071144?hl=ja&ref_topic=10054560

CSV ファイルをアップロードする (3)

データをアップロードしてから、レポート、オーディエンス、データ探索でそのデータを使用できるようになるまでには、**最大 24 時間ほどかかります**。**商品ディメンションをユーザーアクティビティに関連付けるには、データのアップロード後にユーザーが商品の操作を行う必要があります(商品詳細を見る、商品をカートに入れるなどのイベント)。**

ディメンション値を上書きするには、新しいディメンションをアップロードします。

(以下、「費用データ」「アイテムデータ」「ユーザーデータ」「オフライン イベントデータ」共通)

データ アップロード サービスから商品のデータソースを削除しても、関連する商品のディメンションに保存されている値は削除されません。データ インポートでアップロードしたデータを完全に削除するためには、他の収集手法の場合と同様に、ユーザー削除やデータ削除が必要となることもあります。

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10071144?hl=ja&ref_topic=10054560

データソースの詳細

凡例

- スコープ: インポート ディメンション値に関連付けるイベントを指定します。スコープには、ユーザー、セッション、イベント、商品の4つのレベルがあります。商品データのインポートは、eコマース イベント内でアイテム スコープのメタデータを拡張するために使用されます。
- スキーマキー: キーとなるディメンションや指標を指定します。キーは、このデータソース タイプにおいて、イベントに含まれる既存データとアップロードしたデータを紐付けるために使用されます。
- インポートしたデータ: アナリティクスにアップロードしたデータで使用できるディメンションと指標です。

スキーマとして示しているディメンションと指標はあくまで参考用で、すべてが網羅されていない可能性があります。実際に使用できるディメンションと指標は、データソースの作成時に管理画面に表示されます。

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10071144?hl=ja&ref_topic=10054560

スコープ	イベント
スキーマキー	アイテム ID(商品 ID / SKU)(必須)
インポートしたデータ	ディメンション: <ul style="list-style-type: none"> • アイテム名 • アイテムのカテゴリ • アイテムのカテゴリ(2-5) • アイテムのブランド • アイテムのバリエーション

ユーザーデータをインポートする

ユーザーデータのインポート

重複したキーを含むファイルはアップロードしないでください(例: user_id という名前の 2 つのフィールド)。

アナリティクス以外に保存されているユーザーのメタデータ(CRM システムから抽出した「リピート率」「最後の購入日」「顧客のライフタイム バリュー」など)をインポートすることで、ユーザー セグメントやリマーケティング オーディエンスを拡張することができます。

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10071143?hl=ja&ref_topic=10054560

ユーザーデータのインポートの仕組み (1)

ユーザーデータを正常にインポートするには、次のいずれかのキーを使ってデータをアナリティクス データと結合する必要があります。

- ストリーム ID(次ページ参照) と、アナリティクスで生成されたクライアント ID(ウェブの場合)またはアプリ インスタンス ID(アプリの場合)。
- ユーザーごとに生成する固有 ID。たとえば、ウェブサイトやアプリの認証サービスからユーザー ID を取得するか、CRM システムから抽出します。得られた固有 ID(エンドユーザーのプライバシー保護のためハッシュ化したもの 公式ヘルプ:
<https://support.google.com/analytics/answer/6366371>) を測定コードに追加し、イベントとともにアナリティクスに送信します。

アナリティクスでは、

- 1) ストリーム ID と、クライアント ID またはアプリ インスタンス ID、あるいは
- 2) 固有 ID をキーとして使用して、アップロードしたデータにユーザーがマッピングされます。

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10071143?hl=ja&ref_topic=10054560

前ページからの続き: ストリーム ID を確認する

管理 > プロパティ列 > データ ストリーム をクリックして、目的のデータ ストリームを開きます。

「ストリームの詳細」に「ストリーム ID」が表示されています。

アナリティクス すべてアカウント > ga4-quick.an × ウェブストリームの詳細

管理 ユーザー

プロパティ + プロパティを作成
ga4-quick-and-aaa.com - GA4 (302974...)

設定アシスタント
プロパティ設定
プロパティのアクセス管理
データストリーム
データ設定
データインポート
レポート用識別子
アトリビュション設定
プロパティ変更履歴
データ削除リクエスト

サービスとのリンク
Google 広告のリンク
アドマネージャーのリンク
BigQuery のリンク
ディスプレイ & ビデオ 360 のリンク

データ収集は、過去 48 時間有効になっています。

ストリームの詳細

ストリーム名	ストリーム URL	ストリーム ID	測定 ID
https://ga4-quick.and-aaa.com	https://ga4-quick.and-aaa.com	3236933773	G-NMGXZVVKQW

拡張計測機能

ページビューの標準測定に加え、サイトのコンテンツとのインタラクションを自動的に測定します。リンクや埋め込み動画などのページ上の重要なデータは、関連するイベントとともに収集される場合があります。個人を特定できる情報が Google に送信されないように注意する必要があります。詳細

測定中: ページビュー数 スクロール数 離脱クリック 他 3 個

タグ設定手順

次のいずれかの方法を使用して、データ収集を開始します。

新しいページ上のタグを追加する 既存のページ上のタグを使用する

- グローバルサイトタグ (gtag.js) ウェブサイト作成ツールや、CMS でホストされるサイトをご使用の場合、このタグを設定
プロパティでデータの表示を開始するには、アナリティクス タグをウェブサイトに追加します。
- Google タグ マネージャー
ウェブインターフェースからタグを追加したり管理したりすることで、Google アナリティクスなど Google の各種ツールや Google 以外のツールにデータを送信します。

追加の設定

接続済みのサイトタグを管理する
このストリームのページ上のグローバル サイトタグを使用して、追加のプロパティまたはサービスのタグを読み込みます。詳細 1 個を接続済み >

Measurement Protocol API secrets
API Secret を作成すれば、Measurement Protocol でこのストリームに送信する追加のイベントを有効にできます。詳細 >

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10071143?hl=ja&ref_topic=10054560

ユーザーデータのインポートの仕組み (2)

ストリーム ID とアプリ インスタンス ID を使用して、アップロードしたデータにユーザーをマッピングする場合

ストリーム ID とアプリ インスタンス ID を使用して、アップロードしたデータにユーザーをマッピングする場合、**アプリのインストールのたびに新しいアプリ インスタンス ID が割り当てられる**点に注意してください。

ユーザーがアプリをアンインストールして再インストールした場合、再インストール前と後に収集されたデータはそれぞれ 2 つの異なるアプリ インスタンス ID に関連付けられるため、ユーザーも別々に関連付けられます。アプリ インスタンス ID がアプリの更新にあわせて変更されることはありません。

アップロードしたデータはユーザー ディメンション

(<https://support.google.com/analytics/answer/9268042>) に保存され、アップロード以降、このプロセスによって識別されたユーザーが発生させるすべてのイベントと関連付けられます。

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10071143?hl=ja&ref_topic=10054560

参考:「ユーザーID」 アナリティクスでユーザー ID を保存する

アナリティクスでユーザー ID を保存する方法には次の 2 種類があります。

- ユーザー ID ディメンションを使用
詳しくは、ユーザー ID を設定する方法
(<https://support.google.com/analytics/answer/9213390>) をご覧ください
- カスタム ディメンションを使用(スコープをユーザーに設定し、ユーザー プロパティでユーザー識別子を取得)
詳しくは、アナリティクスへの個人情報の送信を避ける
(<https://support.google.com/analytics/answer/6366371>) ためのおすすめの方をご覧ください

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10071143?hl=ja&ref_topic=10054560

カスタム ディメンションを作成する

データをアップロードする前に、カスタム ディメンションを作成する必要があります。

インポートする値向けにユーザー スコープのカスタム ディメンション
(<https://support.google.com/analytics/answer/10075209>)を作成します。

カスタム ディメンションの作成後、インポートするデータを認識できるようになるまでには、**最大で 4 時間**ほどかかります(カスタム ディメンションが処理されていることを確認するには、データ探索を開き、ディメンション選択ツールでユーザー プロパティが表示されるかどうかを確認します)。

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10071143?hl=ja&ref_topic=10054560

CSV ファイルを作成する

ユーザー識別子とユーザー プロパティの値の CSV ファイルを作成します。

例:

```
user_id,user_property1,user_property2,user_property3  
123abc,user1 value 1,user1 value 2,user1 value 3  
456def,user2 value 1,user2 value 2,user2 value 3  
789ghi,user3 value 1,user3 value 2,user3 value 3
```

公式ヘルプから、ユーザーデータの CSV インポート用テンプレートをダウンロードする

<https://storage.googleapis.com/support-kms-prod/q66XiUacu9BuRR68sfFntDY72qefzqOx69mk>

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10071143?hl=ja&ref_topic=10054560

データをアップロードする前に、カスタム ディメンションを作成する (1)

前ページで例に挙げたCSVファイルをインポートする前に、
下記の3件をカスタムディメンションとして設定します。

user_property1
user_property2
user_property3

```
user_id,user_property1,user_property2,user_property3  
123abc,user1 value 1,user1 value 2,user1 value 3  
456def,user2 value 1,user2 value 2,user2 value 3  
789ghi,user3 value 1,user3 value 2,user3 value 3
```

設定 > カスタム定義 > カスタムディメンションを作成

× 新しいカスタム ディメンション 保存

⚠ 固有の値が多いディメンションを登録するとレポートに悪影響が及ぶ可能性があります。カスタム ディメンションの設定に関するおすすめの方法を実践するようにしてください。 おすすめの方法の詳細

ディメンション名 [?] 範囲 [?]

説明 [?]

ユーザー プロパティ [?]

データをアップロードする前に、カスタム ディメンションを作成する (2)

設定 > カスタム定義 において、

user_property1

user_property2

user_property3

をカスタム ディメンションを設定した状態となりました。

user_property1	データインポートテスト	ユーザー	user_property1	2022年6月6日	⋮
user_property2	データインポートテスト	ユーザー	user_property2	2022年6月6日	⋮
user_property3	データインポートテスト	ユーザー	user_property3	2022年6月6日	⋮

データをアップロードする (1)

アップロードの一般的な手順については、前出のデータ インポートについてに記載されています。

データソースを作成する際は、ユーザーを識別するために使用している方法(ユーザー ID またはクライアント ID / アプリインスタンス ID + ストリーム ID)に応じて、「ユーザー ID 別のユーザーデータ」または「クライアント ID 別のユーザーデータ」を選択します。

※「ユーザー ID」と「クライアント ID」については、当セミナーサイトのこちらの解説記事をご参照ください。

<https://ga4-quick.and-aaa.com/archives/1092>

× データソースを作成

1 データソースの詳細 2 マッピング

データソースの詳細

データソース名*

User_Id_Download_Template_csv

データの種類 ①

費用データ

Google 以外のソースから広告費用データをインポートします。このアップロードタイプは、費用データと、レポートやクエリの実行時のキャンペーン、ソース、メディアを関連付けます。このデータを削除しても、基になるイベントデータに影響はありません。

アイテムデータ

ブランド、カテゴリ、および/またはボタンなどの商品メタデータをインポートします。このデータがアップロードされると、収集されたパラメータの代わりにイベント処理や、レポートで過去のデータの修正に使用されます。元のデータを削除するには、元のデータの削除が必要です。

ユーザー ID 別のユーザーデータ

User-ID データをインポートし、他のデータソースに基づいて、アップロードする User-ID ごとに新しいユーザー プロパティの値を更新して関連付けます。このデータを削除するには、ユーザーまたはデータの削除が必要です。

ユーザーデータ収集への同意が提供されました

クライアント ID 別のユーザーデータ

Client-ID データおよび/または App_Instance_ID データをインポートし、他のデータソースに基づいて、アップロードする ID ごとに新しいユーザー プロパティの値を更新して関連付けます。このデータを削除するには、ユーザーまたはデータの削除が必要です。

オフライン イベントデータ

インターネット接続がない場合、あるいはソースが SDK または Measurement Protocol 経由でのリアルタイム イベント収集をサポートできない場合、ソースからオフライン イベントをインポートします。これらのイベントはアップロードされると、関連するタイムスタンプ、またはタイムスタンプがない場合はアップロード時刻を使用して、SDK 経由で収集された場合と同様に処理されます。このデータを削除するには、ユーザーまたはデータの削除が必要です。

インポートするデータのアップロード

CSV ファイル

CSV をアップロード

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10071143?hl=ja&ref_topic=10054560

データをアップロードする (2)

最初の列には次の情報が表示されます。

- データの結合先となるアナリティクス フィールド(この場合はユーザー ID)。「スキーマキー」とも呼ばれます。
- CSV のフィールドと一致する、アナリティクスで作成したカスタム ディメンションのユーザー プロパティ(左の例では、「user_property1」「user_property2」「user_property3」)。

2 番目の列では、CSV で一致するフィールドを選択します。

アナリティクスのフィールド	インポート済みのフィールド
<input checked="" type="checkbox"/> User-ID	user_id
<input type="checkbox"/> crm_id	
<input type="checkbox"/> seminar_participants	
<input checked="" type="checkbox"/> user_property1	user_property1
<input checked="" type="checkbox"/> user_property2	user_property2
<input checked="" type="checkbox"/> user_property3	user_property3

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10071143?hl=ja&ref_topic=10054560

データをアップロードする (3)

データをアップロードしてから、レポート、オーディエンス、データ探索でそのデータを使用できるようになるまでには、最大 24 時間ほどかかります。識別するユーザーのユーザープロパティをユーザー アクションに関連付けるためには、データのアップロード後に、そのユーザーがサイトやアプリを利用する必要があります。

ユーザー ディメンション値を上書きするには、新しい値をアップロードするか、測定コードから新しい値を収集します。

(以下、「費用データ」「アイテムデータ」「ユーザーデータ」「オフライン イベントデータ」共通)

データ アップロード サービスからユーザー データソースを削除しても、関係するユーザーのユーザー ディメンションに保存された値は削除されません。データ インポートでアップロードしたデータを完全に削除するためには、他の収集手法の場合と同様に、ユーザー削除やデータ削除が必要となることもあります。

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10071143?hl=ja&ref_topic=10054560

データソースの詳細

凡例

- **スコープ**: インポート ディメンション値に関連付けるイベントを指定します。カスタム ディメンションには、次の 2 つのスコープのいずれかを指定できます。
 - **イベント**: イベントに関する説明情報(例: イベント名)
 - **ユーザー**: イベントをトリガーしたユーザーに関する説明情報(ポイント階層など)
- **スキーマキー**: キーとなるディメンションや指標を指定します。キーは、このデータソースタイプにおいて、イベントに含まれる既存データとアップロードしたデータを紐付けるために使用されます。
- **インポートしたデータ**: アナリティクスにアップロードしたデータで利用できるディメンションと指標です。

スキーマとして示しているディメンションと指標はあくまで参考用で、すべてが網羅されていない可能性があります。実際に利用できるディメンションと指標は、データソースの作成時に管理画面に表示されます。

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10071143?hl=ja&ref_topic=10054560

スコープ	ユーザー
スキーマキー	次のいずれかです。 •クライアント ID + ストリーム ID •ユーザー ID
インポートしたデータ	ユーザー プロパティ
備考	ユーザーデータのインポートで、個人情報をアップロードしたり統合したりすることは許可されません。 ⇒ https://support.google.com/analytics/answer/6366371

テンプレート (クライアント ID)

User-ID データの CSV テンプレートは既に紹介しましたが (P74)、以下は、クライアント ID データのサンプルです。

クライアント ID の
サンプル

stream_id の確認方法は次ページをご参照ください。

```
client_id,stream_id,user_property1,user_property2,user_property3  
1234567890.1234567890,1234567,user value 1,user value 1,user value 1  
2345678901.2345678901,1234567,user value 2,user value 2,user value 2  
3456789012.3456789012,1234567,user value 3,user value 3,user value 3
```

端数が丸められてしまわないよう、クライアント ID は数値ではなく文字列として保存しましょう。

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10071143?hl=ja&ref_topic=10054560

前ページからの続き: ストリーム ID を確認する(再掲載)

管理 > プロパティ列 > データストリーム をクリックして、目的のデータストリームを開きます。

「ストリームの詳細」に「ストリーム ID」が表示されています。

アナリティクス すべてアカウント > ga4-quick.an × ウェブストリームの詳細

管理 ユーザー

プロパティ + プロパティを作成
ga4-quick.and-aaa.com - GA4 (302974...)

設定アシスタント
プロパティ設定
プロパティのアクセス管理
データストリーム
データ設定
データインポート
レポート用識別子
アトリビュション設定
プロパティ変更履歴
データ削除リクエスト

サービスとのリンク
Google 広告のリンク
アドマネージャーのリンク
BigQuery のリンク
ディスプレイ & ビデオ 360 のリンク

データ収集は、過去 48 時間有効になっています。

ストリームの詳細

ストリーム名	ストリーム URL	ストリーム ID	測定 ID
https://ga4-quick.and-aaa.com	https://ga4-quick.and-aaa.com	3236933773	G-NMGXZVVKQW

拡張計測機能

ページビューの標準測定に加え、サイトのコンテンツとのインタラクションを自動的に測定します。リンクや埋め込み動画などのページ上の重要なデータは、関連するイベントとともに収集される場合があります。個人を特定できる情報が Google に送信されないように注意する必要があります。詳細

測定中: ページビュー数 スクロール数 離脱クリック 他 3 個

タグ設定手順

次のいずれかの方法を使用して、データ収集を開始します。

新しいページ上のタグを追加する 既存のページ上のタグを使用する

- グローバルサイトタグ (gtag.js) ウェブサイト作成ツールや、CMS でホストされるサイトをご使用の場合、このタグを設定
プロパティでデータの表示を開始するには、アナリティクスタグをウェブサイトに追加します。
- Google タグ マネージャー
ウェブインターフェースからタグを追加したり管理したりすることで、Google アナリティクスなど Google の各種ツールや Google 以外のツールにデータを送信します。

追加の設定

接続済みのサイトタグを管理する
このストリームのページ上のグローバルサイトタグを使用して、追加のプロパティまたはサービスのタグを読み込みます。詳細 1 個を接続済み >

Measurement Protocol API secrets
API Secret を作成すれば、Measurement Protocol でこのストリームに送信する追加のイベントを有効にできます。詳細 >

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10071143?hl=ja&ref_topic=10054560

オフライン イベントをインポートする

データソースの詳細

オフライン イベントデータについて

オフライン イベントは、インターネット接続が利用できない場合や、SDK または Measurement Protocol を経由したリアルタイムでのイベント収集がサポートされていない場合に、ソースからインポートできます。イベントをアップロードすると、関連するタイムスタンプ、またはタイムスタンプがない場合はアップロード時刻を使用して、SDK 経由で収集された場合と同様に処理されます。

自動的に収集されるイベント

(<https://support.google.com/analytics/answer/9234069>) のほか、

業種ごとの推奨イベント

(<https://developers.google.com/analytics/devguides/collection/ga4/reference/events>)、または正しい形式のカスタム イベント、パラメータ

(<https://developers.google.com/analytics/devguides/collection/ga4/tag-guide>)、

ユーザー プロパティ(<https://developers.google.com/analytics/devguides/collection/ga4/user-properties?technology=websites>)

をインポートできます。

詳細(<https://developers.google.com/analytics/devguides/collection/ga4/events>)

このデータを削除するには、データ削除をリクエストするかユーザーを削除する必要があります(<https://support.google.com/analytics/answer/9940393>)。

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10325025?hl=ja&ref_topic=10054560

オフライン イベントデータのインポートの仕組み

オフライン イベントをインポートするには、アナリティクスのイベント スキーマに一致する CSV ファイルを作成します。後述のテンプレートの例をご覧ください。

カスタム ディメンションを作成する

アナリティクスにまだ存在していないディメンションの値をインポートして、そのデータをレポートに表示する場合、データをアップロードする前にそれらのディメンションを作成する必要があります。詳細(<https://support.google.com/analytics/answer/10075209>)

(既に見たように、ユーザーデータのインポートの場合も、データをアップロードする前に、カスタム ディメンションを作成する必要がありました。)

カスタム ディメンションの作成後、インポートするデータを認識できるようになるまでには、最大で 4 時間ほどかかります(カスタム ディメンションが処理されていることを確認するには、データ探索を開き、ディメンション選択ツールでディメンションが表示されるかどうかを確認します)。

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10325025?hl=ja&ref_topic=10054560

データをアップロードする (1)

アップロードの一般的な手順については、前出データ インポートについてに記載されています。

データソースを作成する際は、「オフライン イベントデータ」を選択します。

オフライン イベントでは、インポートしたフィールドがアナリティクス フィールドに自動的にマッピングされます。

データをアップロードしてから、レポート、オーディエンス、データ探索でそのデータを使用できるようになるまでには、**最大 24 時間**ほどかかります。

データを上書きするには、新しいデータをアップロードします。たとえば、同じイベント(例: measurement_id、client_id、timestamp_micros、event_name)に新しいパラメータ値をアップロードすると、古い値は新しい値で上書きされます。

(以下、「費用データ」「アイテムデータ」「ユーザーデータ」「オフライン イベントデータ」共通)

データ アップロード サービスからデータソースを削除しても、アップロードされたデータは削除されません。データ インポートでアップロードしたデータを完全に削除するには、他の収集手法の場合と同様に、データ削除が必要となることもあります。

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10325025?hl=ja&ref_topic=10054560

データをアップロードする (2)

アップロードの一般的な手順については、前出データ インポートについてに記載されています。

データソースを作成する際は、「オフライン イベントデータ」を選択します。

オフライン イベントでは、インポートしたフィールドがアナリティクス フィールドに自動的にマッピングされます。手動でマッピングを行う必要はありません。

データの種類の選択画面で「オフライン イベントデータ」が選択されている様子。右側のメッセージボックスには「インポートしたデータは自動的にマッピングされます。オフラインでのデータ インポートは厳密なスキーマに沿って実行されます。アップロードが正しく構造化されていることを確認してください。詳細」と表示されています。

インポートしたデータは自動的にマッピングされます。オフラインでのデータ インポートは厳密なスキーマに沿って実行されます。アップロードが正しく構造化されていることを確認してください。

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10325025?hl=ja&ref_topic=10054560

範囲	イベント
必須項目	<ul style="list-style-type: none"> • client_id または app_instance_id [いずれか 1 つ] • measurement_id または firebase_app_id [いずれか 1 つ] • (measurement_id と client_id) または (firebase_app_id と app_instance_id) • event_name
インポートしたデータ	<p>イベント、パラメータ、商品、ユーザー プロパティのデータは、次のヘッダー形式でアップロードできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • timestamp_micros (省略可。イベントから 72 時間以内で指定可能で、タイムスタンプがない場合はアップロードの時刻を使用する) • user_id (省略可。ただし、使用可能であれば推奨される) • event_param.<xxxxx> (任意の名前の任意のパラメータをインポートする) • user_property.<yyyyy> (任意の名前のユーザー プロパティをインポートする) • item<x>.<item_param> (例: item2.item_name)
メモ	<p>オフライン イベントのインポートで、個人情報アップロードしたり統合したりすることは許可されません。</p> <p>(https://support.google.com/analytics/answer/6366371)</p>

公式ヘルプ:

https://support.google.com/analytics/answer/10325025?hl=ja&ref_topic=10054560

こちらは、シンプルなテンプレートです

```
measurement_id,client_id,event_name,event_param.offline_event_param1,event_param.offline_event_param2  
G-NMGXZVVKQW,10000000000,offline_event,param01,param02  
G-NMGXZVVKQW,10000000000,offline_event,param01,param02  
G-NMGXZVVKQW,10000000000,offline_event,param01,param02  
G-NMGXZVVKQW,10000000000,offline_event,param01,param02
```

measurement_idは、「測定 ID」のことを指します。

管理 > プロパティ列 > データストリーム > ウェブ > ウェブ ストリームの詳細で、見ることがきます。

上限など

予約済みの名前

(https://developers.google.com/analytics/devguides/collection/protocol/ga4/reference?hl=ja#reserved_names)を使用したイベント、パラメータ、ユーザー プロパティは承認されません。

値のないアイテムのイベント パラメータ (item_list_name など) は拒否されます。アイテムのイベント パラメータは、推奨イベントのサブセット

(<https://support.google.com/analytics/answer/9267735>) (例: e コマース、求人、旅行) でサポートされています。

イベント名とパラメータ名は、次のルールに従う必要があります。

- イベントに指定できるパラメータの数は 25 個までです。
- イベントに指定できるユーザー プロパティの数は 25 個までです。
- ユーザー プロパティ名は 24 文字以下で指定する必要があります。
- ユーザー プロパティ値は 36 文字以下で指定する必要があります。
- イベント名は 40 文字以下で指定し、英数字とアンダースコアのみを含め、先頭を英字にする必要があります。
- パラメータ名 (アイテム パラメータを含む) は 40 文字以下で指定し、英数字とアンダースコアのみを含め、先頭を英字にする必要があります。
- パラメータ値 (アイテム パラメータ値を含む) は 100 文字以下で指定する必要があります。

テンプレート2 オフラインの売上データ (1)

こちらは、オフラインの売上データのテンプレートです

```
measurement_id,client_id,event_name,event_param.transaction_id,event_param.value,  
event_param.currency,item1.item_id,item1.item_name,item1.item_category,item1.item  
_category2,item1.item_category3,item1.item_brand,item1.item_variant,item1.quantity,i  
tem1.price
```

```
G-NMGXZVVKQW,10000000000,purchase,220001,10000,JPY,1,サブスク1,サブスク月  
額,music,jazz,green_note,HD,1,10000
```

```
G-NMGXZVVKQW,10000000001,purchase,220002,10000,JPY,2,サブスク2,サブスク月  
額,music,jazz,green_note,HD,1,10000
```

```
G-NMGXZVVKQW,10000000002,purchase,220003,10000,JPY,3,サブスク3,サブスク月  
額,music,jazz,green_note,HD,1,10000
```

```
G-NMGXZVVKQW,10000000003,purchase,220004,10000,JPY,4,サブスク4,サブスク月  
額,music,jazz,green_note,HD,1,10000
```

テンプレート2 オフラインの売上データ (2)

前ページのサンプルは、下記のフィールドに従って作成しています。

フィールド名	itemの解説	説明
measurement_id		P87でも見た、測定 ID
client_id		client_idまたはapp_instance_id
event_name		購入完了は「purchase」固定
event_param.transaction_id		取引を一意に識別する ID
event_param.value		売上金額
event_param.currency		通貨(日本円はJPY : 3文字の ISO 4217 形式)
item<x>.item_id	※item<x>: 商品ごとにインデックスを付与して設定します。 例) item1.id, item1.item_name, item1.price, item2.id, item2.item_name, item2.price	商品ごとの固有ID
item<x>.item_name		商品名
item<x>.item_category		商品カテゴリ カテゴリに階層がある場合はitem_category2～item_category5を利用 例) item1.item_category2
item1<<N>>.item_brand		商品ブランド名
item<x>.item_variant		商品のバリエーション(カラーやサイズなど)
item<x>.quantity		商品の数量
item<x>.price		商品の金額

テキストはここまでとなります。